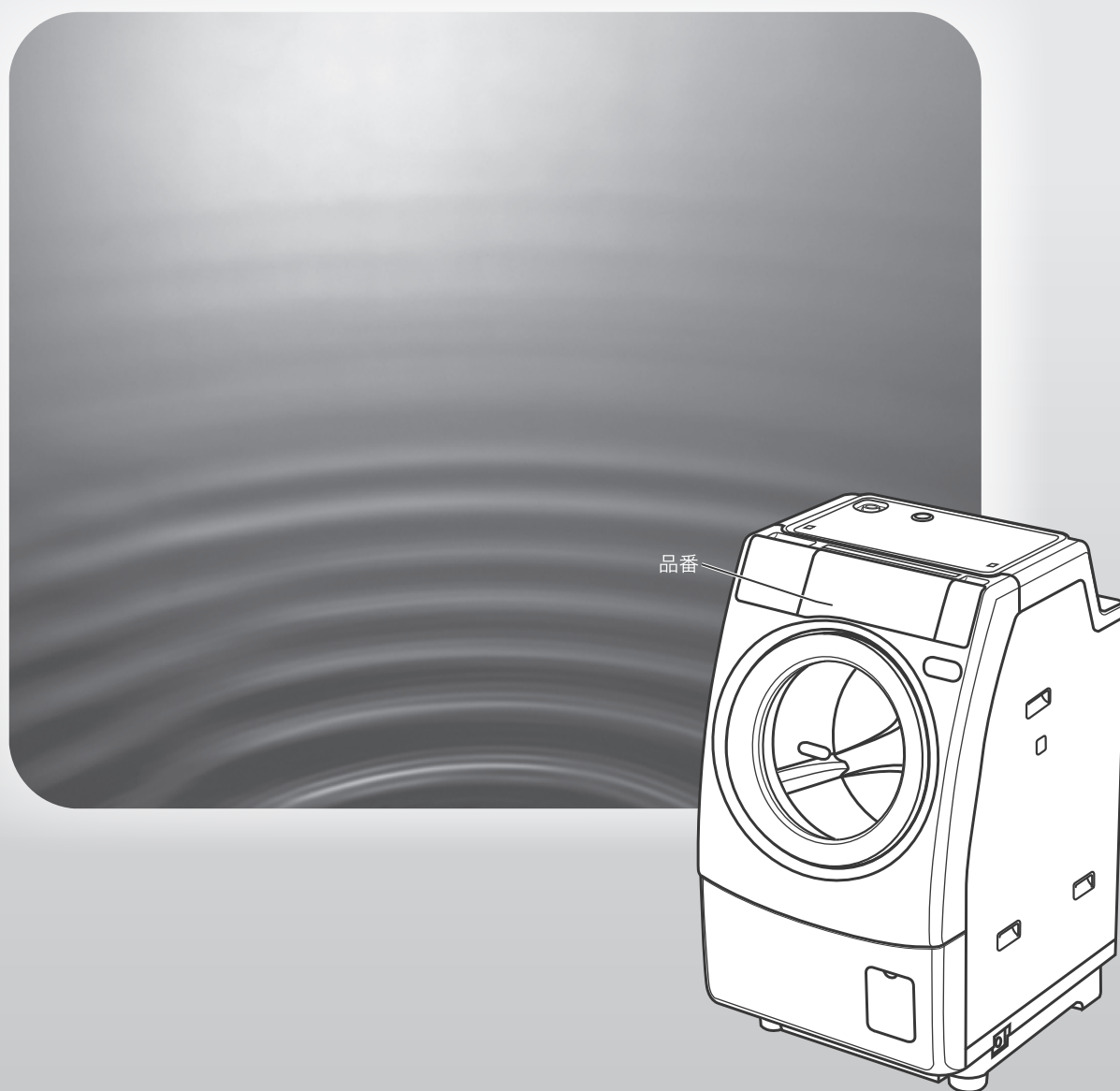
取扱説明書

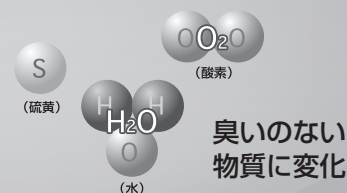
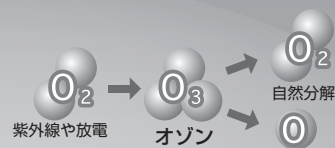
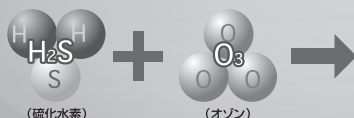
ドラム式洗濯乾燥機 家庭用

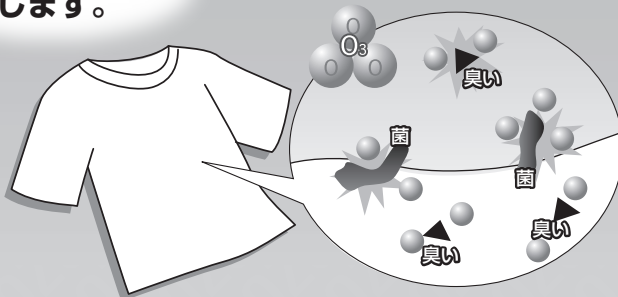
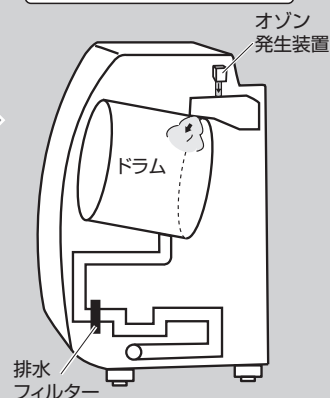
品番 AQW-D500-L (ドア左開き)
AQW-D500-R (ドア右開き)

品番

このたびは、ドラム式洗濯乾燥機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受け取りの
うえ、この説明書、据付説明書とともに大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

オゾンの効果・特徴

オゾン（O3）は「除菌」「消臭」「洗浄」に優れた効果を発揮します。また、速やかに酸素に戻るため、様々な用途に活用されています。
身近では、浄水場でオゾンによる除菌やカビ臭などの消臭に利用されています。

エアウォッシュ※2

オゾンの力で「除菌※1」「消臭」を行います。

※1：試験依頼先/（財）日本食品分析センター、試験方法/寒天平板培養法、除菌方法/オゾン
※2：容量2kg以下

シャワーすすぎ

中間脱水行程をすすぎ行程と合体することで、大幅な 時間短縮 & 節水 を実現！

だから、速い！
だから、節水！

もくじ

ご使用の前に

使いかた

必要なとき

AQW-D500-Rを お買い上げのお客さまへ

AQW-D500-Lに対してドアの開く方向とドア開ボタン位置が異なりますが、使いかたは同じです。
説明イラストは、AQW-D500-Lを使っています。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

死亡や重傷を負う可能性が想定される内容です。

傷害や物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

ドア

ロックしているドアを無理に開けない
（ドア・ロック機構の破損、けがの原因）

ドアにぶらさがらない
本体が倒れる原因になります。
（けがの原因）

特にお子さまにはご注意ください

ドラム

幼児にはドラムをのぞかせない
本体の近くに台などを置かない
（ドラム内に落ちる、けが、やけどの原因）

回転中のドラム内に手などを入れない
完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。（けがの原因）

特にお子さまにはご注意ください

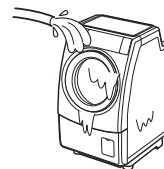
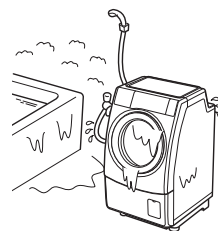
本　体

浴室や風雨にさらされる場所には置かない
（感電・火災・故障・変形の原因）

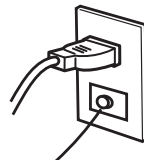
お手入れなどで直接水をかけない
（感電・火災・故障・変形の原因）

火気を近付けない
ローソク、タバコ、蚊取り線香など
（火災や変形の原因）

絶対に分解・修理・改造はしない
（火災・感電・けが・水もれの原因）
修理はお買い上げの販売店、または当社修理相談窓口にお問い合わせください。

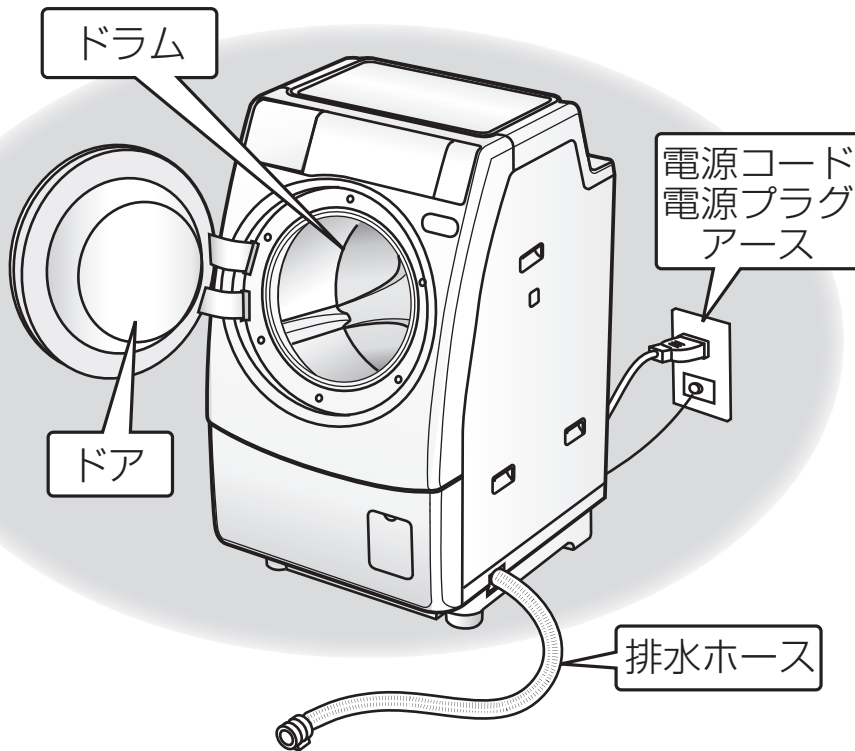
➡P55 修理を依頼する前に
➡P64 修理相談窓口

電源コード・電源プラグ

- **電源コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
（感電・ショート・発火の原因）
- **傷付けない、破損しない、無理に曲げない、たばねない**
- **電源コード上に重い物をのせたり、はさみ込まない**
（破損して、火災・感電の原因）
- **ぬれた手で抜き差ししない**
（感電の原因）
- **延長コードは使用しない**
（火災・感電の原因）
- **テーブルタップによるタコ足配線はしない**
（火災・感電の原因）

- **定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**
（火災・感電の原因）
- **定期的に電源プラグを乾いた布で拭く**
（ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因）
- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
（感電・けがをする原因）
- **アースを取り付ける**
（故障や漏電のときに感電する原因）
必ず電気工事店や販売店に依頼してください。
工事費は本体価格には含まれません。

⚠ 警　告

引火物をドラムに入れない

- ライター・火気のあるものをポケットなどに入れて一緒に洗濯しない
（火災や変形の原因）

- 灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物を絶対に入れたり近づけたりしない
（爆発や火災の原因）

異常時

異常･故障時には直ちに使用を中止する

（感電・漏電・発煙・火災・けがの原因）

- 電源を入れても運転しないことがある
- 運転中、異常な音がする
- 焦げくさいにおいがする

このような症状のときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店へ点検・修理を依頼してください。

その他

排水ホースの付け換え時には、必ず手袋をする

（けがの原因）

洗濯後でも絶対に乾燥やエアウォッシュをしてはいけない衣類

- 食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル(ボディオイル・エステ系のオイルなど)、ベンジンやシンナー、灯油、ガソリン、樹脂(セルロース系)などの付着した衣類
- 手芸用接着剤を使ったもの、発泡ウレタン（スポンジ類)の入ったもの
- ポリプロピレン繊維製の衣類

（油の酸化熱による引火・自然発火の原因）

油の種類により洗濯しても落ちない場合があります

安全上のご注意（つづき） 必ずお守りください

⚠注　意

据え付け

直射日光のあたる場所には置かない
（液晶の破損、プラスチック部品の色や形が変わる原因）

冬期に凍結の恐れのある場所には置かない ➡据付説明書

本　体

上にのぼったり、ものを置かない
（けがや感電の原因）
（置いているものが誤って洗剤投入ケースなどに入ると水もれの原因）

排水フィルター

排水フィルターは、乾燥及び洗濯中に絶対に開けない
（水もれの原因）

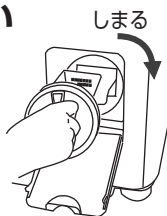
排水フィルターは、運転前に必ず閉める
（水もれの原因）

お掃除のとき以外は、排水フィルターを必ず付けておく
（水もれの原因）

しまる

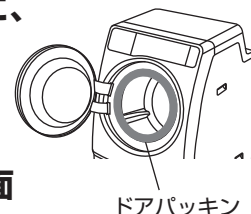
電源コード

電源コードを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持ってコンセントから抜く
（感電・ショートして発火する原因）

長期間使わないときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
（絶縁劣化による感電・漏電火災の原因）

ドアパッキン

衣類を出し入れするときに、ドアパッキンに無理な力を加えない
（水もれの原因）

使用前にドアパッキン表面に糸くずなどの異物が付着していないか確認する
（水もれの原因）

ドアパッキン

水

給湯器には接続しない
（乾燥時、温水ではドラム内の空気の冷却・除湿ができず、乾燥できない）

50℃以上のお湯は使わない
（感電・漏電の原因）

さび・砂鉄の含まれる水は使わない
（井戸水・さびた給水管等の使用は、水もれ・故障の原因）

環境に配慮した使いかた

●風呂の残り湯を使う

「洗い～すすぎ1」まで設定すると、水道水のみの使用に比べ、約32L節水できます。(容量9kg・洗い～脱水の場合)

風呂の残り湯を利用する ➡P22

防水品

防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水をしない

（脱水中にドアが開いたり、異常振動によるけが、本体・壁・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因）

足拭きマットなど固くて厚いもの・オムツカバー・雨ガッパ・カーペット・ウインドブレーカー・サウナスーツ・ウエットスーツ・スキーウェア・自転車・バイク・自動車などのカバー・防水シート・寝袋
その他、防水性の水を通しにくいもの

■防水性衣類の確認方法
衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。

換　気

ときどき換気をする

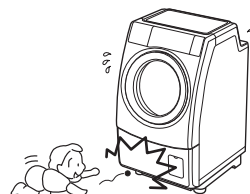
オゾンが機外に放出される量は人体に影響を及ぼさないレベルです。換気の悪い部屋で長時間使うと臭気が気になることがありますので、部屋の換気をおすすめします。

水　栓

運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する ➡据付説明書
（水もれの原因）

運転終了後は、必ず水栓を閉じる
（水もれの原因）

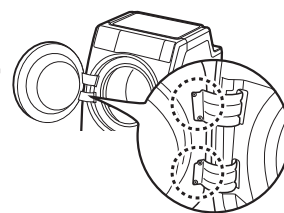
運転中

運転中、本体の下に手足を入れない
（けがの原因）

乾燥中や乾燥直後は、本体上部・ドラム・金属部・ドア・ガラス・衣類の金属ボタンなどをさわらない
（やけどの原因）

ドアに衣類がはさまったまま運転しない
（水もれ・オゾン臭・故障の原因）

毛布・ふとん洗い時に洗濯ネットを使わない
（異常振動で壁などの破損・けがの原因）

廃　棄

廃棄処分時は、ドアを取りはずす
（子供が中に閉じ込められる原因）

ネジ4本をはずす

●まとめ洗いをすれば、全て節約になり洗濯回数も減ります。

● 乾燥時、衣類の量は少なめに入れる ➡P16

乾燥時間が長くなったり、乾きムラになります。

● 乾燥フィルターのお手入れはこまめに

➡P51

●「洗剤ゼロ」コースの使用

➡P36

● 洗剤を入れすぎない

洗剤使用量の目安
➡P18～19

各部のなまえ / 付属品

給水口 ➡ P49

風呂水吸水口 ➡ P22・49

洗剤投入ケース ➡ P20・50

操作パネル ➡ P10～11

乾燥フィルター ➡ P51
運転中に取りはずすと「UC」(乾燥フィルター抜け)表示して運転が止まります。

ドア ➡ P9

ドア開ボタン ➡ P9

電源プラグ

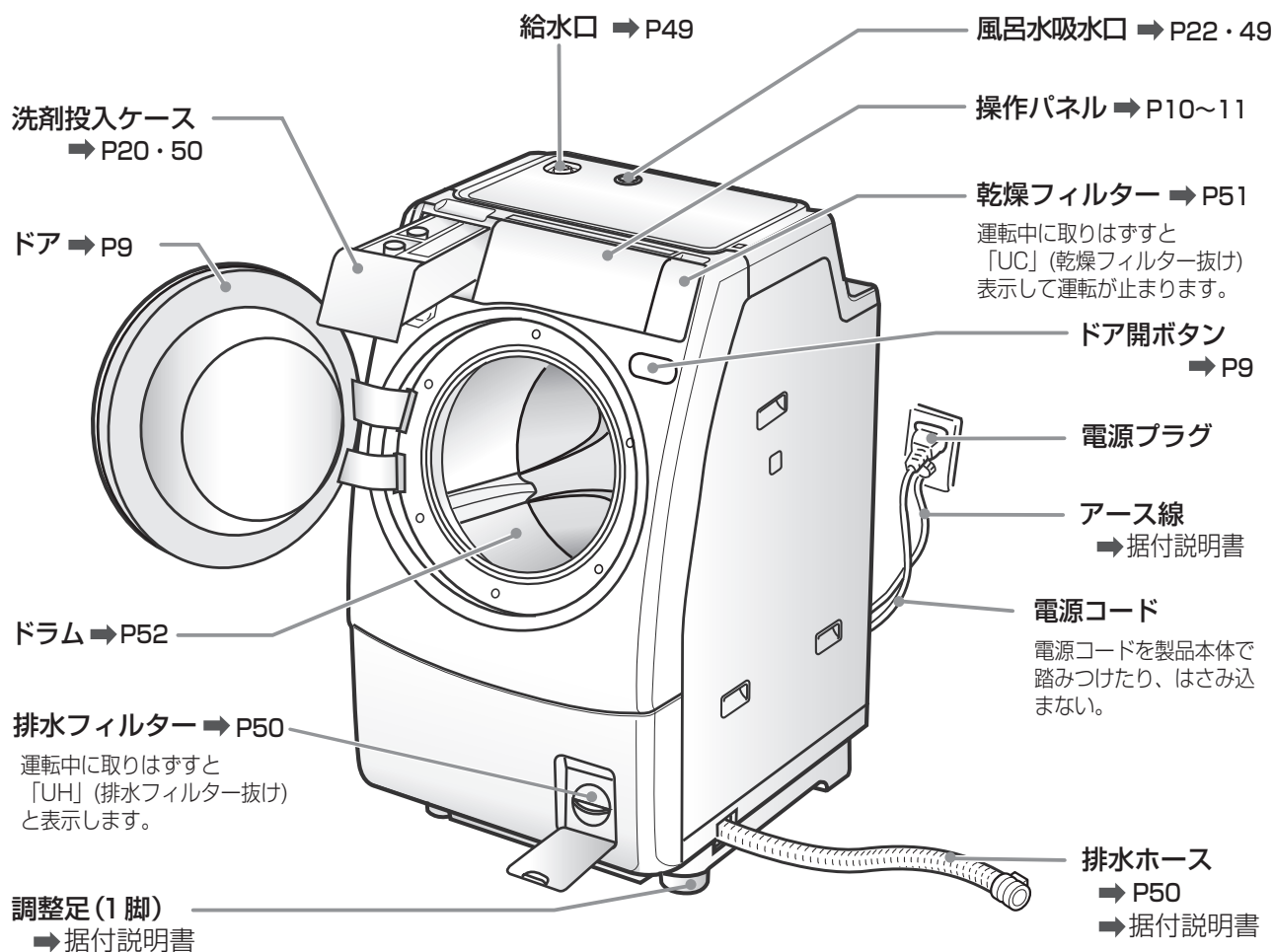
アース線 ➡ 据付説明書

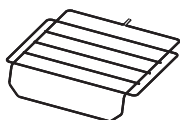
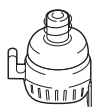
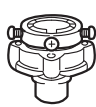
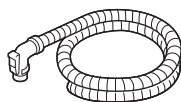
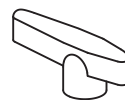
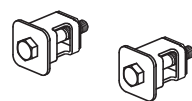
ドラム ➡ P52

電源コード
電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみ込まない。

排水フィルター ➡ P50
運転中に取りはずすと「UH」(排水フィルター抜け)と表示します。

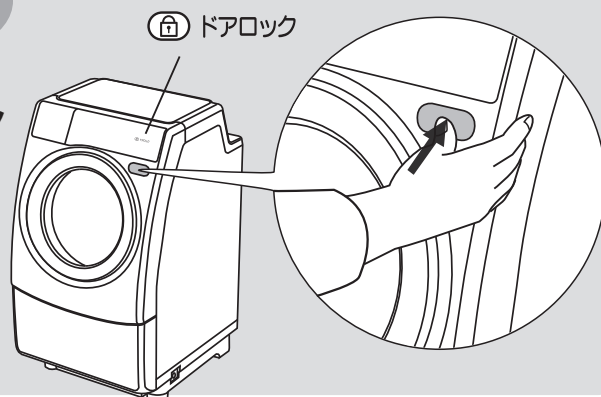
排水ホース ➡ P50 ➡ 据付説明書

調整足(1脚) ➡ 据付説明書

AQW-D500-R…ドアは右開きでドア開ボタンは左にありますが
使いかたは同じです。
説明イラストは、AQW-D500-Lを使っています。

付　属　品

ドアの開閉とロック

安全のため、スタート後はドアがロックされます。🔒ドアロック 点灯中は、開きません。

開けかた

ドア開ボタンを押してください。

閉めかた

「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。

ドアロック中にドアを開けたい

を押す

電源が入っていないとき

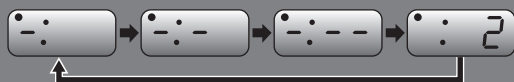
●運転中に電源を切ったり、停電した場合はロックされたままになります。

を押す

「カチッ」と音がして 🔒ドアロック が消灯後、 開けてください。

運転中は泡がこぼれたり、ドアに付着した泡や水が床にたれることがあるため、タオルで受けるなどしてください。

「UA 1」を表示したとき ➡P54

■ドアロックが消えるまでの時間

▲ を表示したとき **オゾン除去中** 約2分～10分

一時停止や、電源「切」「入」をした場合ドラム内からオゾンが消えるまでの時間を上記のように表示し、ドアロックが点滅します。

: H

▲ を表示したとき **ドラム内高温** 約15分～30分

ドアガラスやドラムの冷却運転をしています。

「UL」と表示したとき ▶ チャイルドロックが設定されています。
解除してください。➡P45

操作パネル部のはたらき

表示部

洗剤量

- スタート後、洗剤量の目安(杯)を表示します。

残時間

- 運転中は、残時間を表示します。

（例）残り2時間20分

残り時間(分) 2:20

予約時間

- 何時間後に終了するかを表示します。

乾燥容量オーバー

- 乾燥容量が多い場合に点灯してお知らせします。点灯した場合は、一時停止後、衣類を減らしてから電源を入れ直し、再度スタートしてください。ぬれた衣類は、脱水してから乾燥してください。

点灯

お知らせ

- 不具合が生じたときに点滅とブザーでお知らせします。

➡P54～55 こんな表示が出たら

※

- やわらか仕上げ運転は「0」を表示しながら運転を行います。

ドラムの回転中は「0」が点滅します。

- 乾燥中に「残り時間(分)」が点滅した場合は、残り時間を見直しています。その間は、残時間が減りません。

風呂水

- 風呂水を使って洗濯するときに ➡P22～23
- 風呂水利用で異常が発生したとき、点滅でお知らせします。

乾燥終了…取り出しOK

- 乾燥が終了すると点灯します。
- 洗濯物を取り出すまで、「やわらか仕上げ運転」を行うため、点灯します。（最長2時間）ドラム回転中は、点滅します。

洗濯行程の変更／行程内容のお知らせ

- 「洗い」「脱水」「乾燥」の時間や「すすぎ」回数の変更に行程ボタンを押すと変更できます。 ➡P42～43・46
- 「洗い」のみ、「すすぎ」のみ、「脱水」のみなど単独運転に切り換えるときに ➡P42～43
- 運転中の行程を点滅、残りの行程を点灯で表示します。

洗濯

「洗い」
↓
「すすぎ」
↓
「脱水」
運転を行います。

洗濯▶乾燥

「洗い」
↓
「すすぎ」
↓
「脱水」
↓
「乾燥」
運転を行います。

予約

今から何時間後に運転を終了させるかを選びます。➡P44

- 予約設定後は、運転内容の変更はできません。

お掃除サイン

- フィルターのランプが点滅したらお手入れしてください。

➡P50・51

ドアロック

- **点灯中**
  ドアはロックされ開きません。
- **点滅中**
  ロック解除中です。
- **消灯中**
  ドアを開けることができます。

電源「切」／「入」

「ピッ」と鳴るまで押してください。

- オートオフ機能
  (自動的に電源が切れます)
  - ・運転終了時………約5秒後
  - ・スタートさせずに10分間放置したとき

やわらか仕上げ運転中は、ドアを開けると電源が切れます。

- 電源を入れると記憶しているコース内容が点灯します。

➡P61　記憶機能

※

やわらか仕上げ運転について

シワを少なく、やわらかな仕上げを保つため、乾燥終了後、5～15分毎にドラムの回転を10秒間繰り返します。
(最長2時間)

- 乾燥は終了しています。早めに衣類を取り出してください。
- やわらか仕上げは、省くことができます。➡P47
- やわらか仕上げを終了させたいとき
  ・ドアを開ける
  または
  ・(スタート一時停止) を押す

予約　お掃除サイン　■乾燥フィルター　■排水フィルター　容量オーバー
除菌　毛布　消臭のみ
アイロン　棚乾燥　ドラム回転
低温乾燥　カビガード(オゾン槽洗浄)　ドラム静止
オートオフ　電源 切/入　ドアロック
スタート 一時停止
乾燥　エアウォッシュ

乾燥

「乾燥」のみ運転を行います。

- チャイルドロックを設定するときに
  ➡P45

エアウォッシュ

オゾンの力で「除菌」「消臭」をします。
➡P24～27

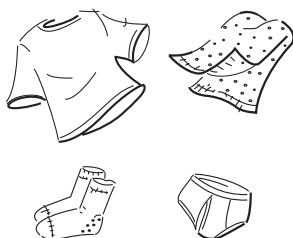
- ドラム回転コース/ドラム静止コース/毛布コースが選べます。

スタート／一時停止

- スタートするときに
- 一時停止するときに
  再び押すと運転を再開します。
- ドアロックを解除するときに
  ➡P9
- 終了ブザーを消すときに
  ➡P47

洗濯物にあったコースの選びかた

洗濯物や汚れ具合にあわせてお選びください

衣類	コース			洗濯	洗・乾	乾燥
普段の衣類 Tシャツ、タオル類、パジャマ 下着、くつ下、ワイシャツ ズボン、作業着、体操服など	普段の汚れに	標準	P28	9kg	6kg	6kg
	超濃縮液体洗剤※使用時に	eco標準	P28	9kg	6kg	
	がんこな汚れに	念入り	P28	9kg	6kg	6kg
	自分の運転を記憶させる	自分流	P38	9kg	6kg	6kg
	音が気になる夜間の運転に	ナイト	P28	9kg	6kg	6kg
	衣類を除菌したいときに	除菌	P28	6kg	6kg	6kg
	軽い汚れを手早く	おいそぎ	P28	9kg	6kg	
	えりやそでなどのしつこい汚れに	つけおき	P28	2kg	2kg	
	化繊などの熱に弱い衣類に	低温乾燥	P28		6kg	6kg
	アイロンがけをしたい衣類に	アイロン	P28		6kg	6kg
軽い汚れの衣類 一度使ったタオル類 汗がついたパジャマなど	着たから洗う軽い汚れに	洗剤ゼロ	P36	6kg	6kg	
毛布やふとん、シーツ類など	手洗イ30の毛布やふとん、シーツ類などの大物に	毛布	P34	毛布 4.5kg ふとん シーツ 1kg	毛布 4kg ふとん シーツ 1kg	毛布 4kg ふとん シーツ 1kg
デリケートな衣類 セーター、カーディガン、学生服 ランジェリー類、スカート ブラウス、スラックスなど	手洗イ30 ドライの衣類	ドライマーク	P32	1.5kg		
	デリケートな衣類の乾燥に	棚乾燥	P39			0.5kg
水洗いしたくないもの ぬいぐるみ、帽子、かばん、毛布など	除菌・消臭をしたいときに ドラム回転コース/ドラム静止コース/毛布コースが選べます。	エアウォッシュ	P24	エアウォッシュ 2kg 毛布 3kg		
ドラムのお手入れ	ドラムのカビを予防するときに	カビガード	P52	洗濯物は入れない	洗濯物は入れない	
	黒カビ・石けんカスが発生したときに	槽洗浄	P53	洗濯物は入れない	洗濯物は入れない	

※超濃縮液体洗剤は、すすぎ１回と表記されている液体洗剤をご使用ください。

衣類の絵表示（例）

40℃以下で洗濯機で洗濯ができる

40℃以下で洗濯機の弱水流で洗濯ができる

30℃以下で弱い手洗いがよい

水洗いはできない

ドライクリーニングができる

塩素系漂白剤による漂白はできない

洗濯機で脱水するときは、短時間にする

ハンガーなどにつり干しをするのがよい

平らなところに広げて干すのがよい

日陰で平らなところに広げて干すのがよい

コース内容と所要時間 ➡P60～61

洗濯・乾燥できないもの

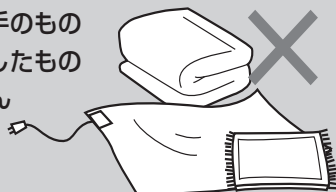
洗濯も乾燥もできないもの

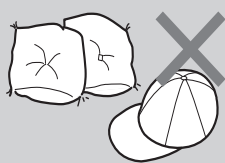
洗濯機本体や洗濯物が破損する原因になります

ドライ/石油系表示のあるもの

皮革、絹製品

ふとんや敷物では…

- 純毛の毛布、電気毛布、カーペットカバー
- ロングパイル(毛足1cm以上)の毛布
- マット類などの厚手のもの
- ペットの毛が付着したもの
- 1kgを超えるふとん

ざぶとんや小物類では…

- ざぶとんや枕などわたやスポンジ類が入った製品
- 固い芯材が入った帽子

和服、和装小物

ゴム、ナイロン、ビニール製品

市販の洗濯補助具

- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネット・洗濯ボール・ゴミ取りフィルター など

乾燥できないもの

ウールの衣類、ウールの毛布

のり付けした衣類

「タンブラー乾燥はお避けください」と表示のある衣類

吊り干し、平干し表示及びドライ表示のあるもの

コーティング加工、樹脂加工
（接着剤を使用したもの）
エンボス加工（凹凸模様）をした衣類

上記の洗濯物のうち「棚乾燥」コースで乾燥できるものもあります。➡P39

⚠注　意

防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水をしない

脱水中にドアが開いたり、異常振動によるけが、本体・壁・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因

足拭きマットなど固くて厚いもの・オムツカバー・雨ガッパ・カーペット・ウインドブレーカー・サウナスーツ・ウエットスーツ・スキーウェア・自転車・バイク・自動車などのカバー・防水シート・寝袋
その他、防水性の水を通しにくいもの

■防水性衣類の確認方法
衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。

洗濯のポイント

デリケートな衣類を守る

洗濯ネット利用上のご注意

デリケートな小物類は、洗濯ネットに入れて洗濯できます。

ご注意

- ふだんの衣類やたくさんの衣類を洗濯ネットに入れると、バランスが取れず脱水ができない場合があります。
- 少量の衣類でも洗濯ネットに入れる場合は、脱水時にバランスを取るために、洗濯ネットに入れた衣類の量以上の衣類を一緒に入れてください。
- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは、使わないでください。
- 洗濯ネットに入れたまま乾燥すると、乾きムラやシワの原因になります。

洗濯ネットに入れられるもの

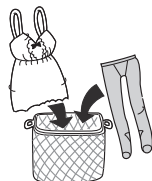
■小物衣類

（赤ちゃんのくつ下、ハンカチなど）

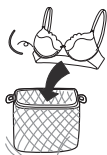
- 軽い衣類は、洗濯中にドア付近に集まり、洗いや脱水が十分できないことがあります。

■傷みやすい衣類

（レースのついた衣類、ランジェリー、ナイロンストッキング、化繊のうす物 など）

➡「ドライマーク」コースで洗う➡P32

■ワイヤー入りのブラジャー

➡必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れる

- ワイヤーが飛び出し、本体や他の洗濯物を傷める原因になります。

洗濯ネットに入れられないもの

■大きなもの

（毛布、ふとん、ジーンズ、バスタオル など）

- 脱水時に異常振動が発生したり、バランスが取れずに脱水できない場合があります。

洗濯ネットを使用して洗濯される場合のお願い

ポイント1

洗濯物をドラムに入れるとき、洗濯ネットを先に入れる

プラス

ポイント2

洗濯ネットに入れた衣類の量以上の衣類を一緒に入れる

ポイント3

洗濯ネット内に入れる量はできるだけ少なく

脱水時にバランスを取るために衣類を入れてください。また、洗濯ネットに入れる衣類の量を少なくしてください。バランスが取れないと脱水できない場合があります。

きれいに仕上げるために

衣類をチェック！

新しい色柄物・色落ちしやすいものは
分け洗いをする

■色落ち確認方法

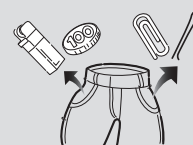
洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する。

衣類の絵表示に従う ➡P12

飲料水、化粧水が付着した衣類を長時間放置しない

- まれにピンク色に変色することがあります。すぐ洗い流してください。

ポケットの中に何も入っていないことを確認する
カーテンフック、ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り除く

- 排水経路にゴミや異物が詰まったり、衣類や本体を傷め、異常音・故障の原因になります。

糸くずや毛玉が気になるもの

- 裏返して洗ってください。気になる衣類は、タオル、バスタオルとは分けて洗ってください。
- 市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れると糸くずの付着を防止する効果があります。

ひもは結ぶ、ボタンは留める
ファスナーは閉める
マジックテープは止める

- 衣類や本体を傷つける原因になります。

汚れがひどいものは前処理をする

部分洗い用洗剤や漂白剤を利用してください。

しみ汚れ

● 酸素系液体漂白剤やしみ汚れ用洗剤などを塗って洗う。食べ物のしみの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く。

えり・そで汚れ

●そで口・えりなどの汚れは、洗剤液をつけ、ブラシなどで軽くたたいて落とす。

泥や砂汚れ

● 石けんや専用洗剤をつけてもみ洗いをする。

●ブラシなどで落とす。(本体の故障を防ぐため)

タオルがゴワゴワする

たたき洗いのため、タオルなどはパイル倒れを起こすことがあります。

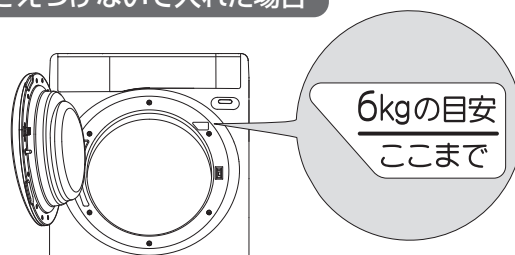
● タオル仕上げ機能を設定する。➡P48

●ソフト仕上剤の使用をおすすめします。

黒ずみや臭いを抑える

● 洗剤が少なすぎたり、ソフト仕上剤を入れすぎると、黒ずみや臭いの原因になります。
洗剤・ソフト仕上剤は適正な量をお使いください。 ➡P18・19

●衣類をドラムに入れたときの目安

乾いた状態の衣類を
押さえつけないで入れた場合

●洗濯物の重さの目安

約50g

約130g

約200g

約300g

約400g

約500g

約600g

約800g

● 化繊のものだけ(ワイシャツ・ブラウスなど)を洗う場合は、かさばるため、6kg以下を目安としてください。

お知らせ

●厚手のものや、かさばるものは、1枚だけで入れないでください。

(ジーンズ、バスローブ、トイレマット 木綿の厚手のトレーナーなど)

◎ 洗濯物が片寄って脱水時に振動が大きくなり、「U3」(脱水できません)を表示し、運転が止まる場合があります。

➡ バランスをとりやすくするため、ぬれたバスタオルなど、厚手の衣類を2～3枚追加してください。

●洗濯後、小物衣類が見当たらない場合は、ドアパッキンの下を確認してください。 ➡P45

乾燥のポイント

●衣類をドラムに入れたときの目安

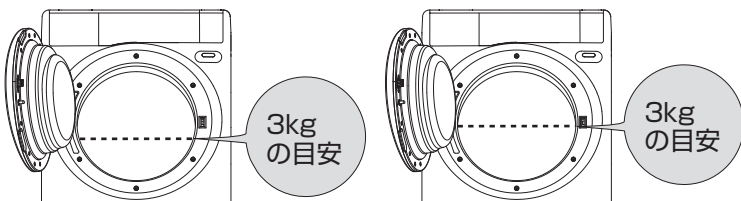
衣類の量は
少なめにしてください

- 乾燥容量をお守りください。➡P12
  乾燥ムラや乾燥が不十分になる原因になります。
- 乾燥する衣類の量を乾燥容量の半分以下にすると仕上がりが良くなります。

乾燥のみ

湿った状態の衣類を押さえつけないで入れた場合

洗濯▶乾燥まで

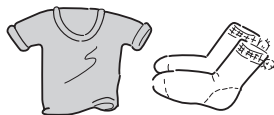
乾いた状態の衣類を押さえつけないで入れた場合

ご注意ください

衣類の縮み

- 衣類には、水につけたり、洗濯して乾かすだけでも縮むものがあります。
- 乾燥で機械力が加わり、さらに縮むものがあります。
- 縮みの程度は、1回目の洗濯・乾燥でほぼ決まり、生地の種類・織りかた・縫製のしかた・仕上げによっても異なります。衣類の表示・材質表示を確認ください。

タンブラー乾燥はお避けください。

縮みやすいもの

綿のシャツ、混紡ソックス
フリース、ジーンズ
麻のニット製品など

縮んだときは

綿製品などでいったん縮んだ衣類は十分ぬらしてから引っぱり、天日干しするとある程度は戻ります。

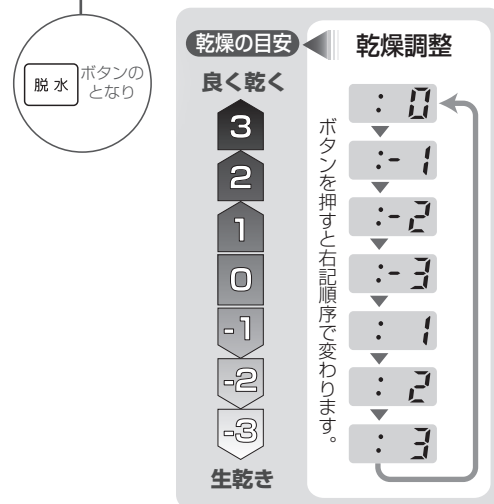
乾き具合が気になる場合
(乾きすぎ・乾き不足)

■乾きすぎるときや乾き不足のときに

1 電源「切」の状態で［洗・乾］を押しながら、［電源切/入］を押し、そのまま［洗・乾］を約4秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り「888」と表示

2 ［乾燥］を押し、乾燥の度合いを調整する

3 押す

- 「ピー」と鳴り、設定完了

4 ［電源切/入］ 電源を切る

解除 ▶ 上記と同じ操作をする
「0」に戻す

- 「ピー」と鳴り、解除完了

お知らせ

- ジーンズなど厚物を普通の衣類と一緒に乾燥すると厚物の乾きが不十分になることがあります。
  ➡P30「仕上げ乾燥」参照
- ランニングシャツなどの小物をバスタオルなど、かさばる衣類と一緒に乾燥すると乾きが不十分になることがあります。➡P30「仕上げ乾燥」参照

●少量の衣類の場合

- **洗濯▶乾燥をすると、運転後にドラム内に洗濯物がはり付いている場合があります。**
  →一時停止をし、はり付いた衣類をほぐしてください。衣類の量を増やすとはり付きが軽減されます。
- 約500g以下の場合は、お好みで時間を設定して乾燥することをおすすめします。➡P42~43

乾燥シワが気になる場合

衣類により、従来の乾燥機と同様に乾燥でシワになるものがあります。
衣類に合わせて適切なコースを選んでください。

●シワについて

素材・織りかた・厚さ・形態によってシワがひどくついたり縮んだりして洗濯乾燥機には向かないものがあります。乾燥前に衣類の絵表示・素材表示を確認してください。

生地・織りかたにより、同種の衣類でもシワになる程度が異なります。
シワになりやすい生地 ➡ 薄手の平織・クレープなど

洗濯物で分ける ➡P30

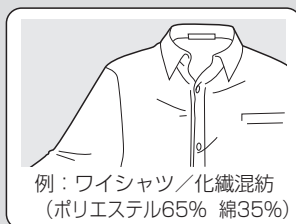
比較的シワが気になりにくい衣類

標 準 コースで乾燥してください。

- ●トレーナー
- ●トレーニングウェア
- ●タオル類など

ややシワになる衣類

標 準 / アイロン コースで乾燥してください。

例：ワイシャツ／化繊混紡（ポリエステル65% 綿35%）

シワになりやすい衣類

アイロン / 低温乾燥 コースで乾燥してください。

例：ワイシャツ（綿100%）

※「標準」コースで 乾燥するとシワが多くなります。

シワを少なくしたいとき

アイロンがけをする衣類

アイロン コースで乾燥してください。

- ●ワイシャツ
- ●ハンカチなど

少し湿った状態で終了します。乾燥後は、すぐに「吊り干し」をしてください。

化繊など熱に弱い衣類

低温乾燥 コースで乾燥してください。

- ●ブラウス
- ●キャミソール
- ●下着など

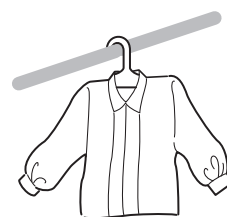
衣類を少なめに入れる

- 乾燥する衣類の量を半分以下にすると仕上がりが良くなります。

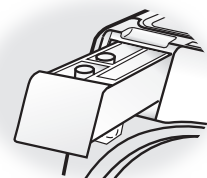
洗濯ネットに入れたまま乾燥しない

脱水後、一旦取り出して脱水シワをのばしてから乾燥する

乾燥時間を30分に設定して運転後、生乾きの状態で取り出し吊り干しをする

乾燥後は、すぐに衣類を取り出す

洗剤・ソフト仕上剤・漂白剤量の目安

下表の使用量に従って、洗剤投入ケースに入れてください。

洗剤投入ケースの使いかた ➡P20

コース	洗濯量(乾燥布)(以下)	洗剤量目安表示(杯)	合成洗剤 粉末 20g/30L	粉末 25g/30L	液体洗剤 濃縮タイプ 10mL/30L	液体洗剤 20mL/30L	液体洗剤 25mL/30L
標準 念入り 自分流 アイロン※ 低温乾燥※ 除菌※ ナイト	9kg	0.9	44g	55g	22mL	44mL	55mL
	6kg	0.8	37g	46g	18mL	37mL	46mL
	3kg	0.6	26g	32g	13mL	26mL	32mL

※「アイロン」「低温乾燥」「除菌」コースは、6kg以下です。

コース	洗濯量	洗剤量目安表示	粉末	濃縮タイプ 10mL/30L	
eco標準	9kg	1.0	——	22mL	
	6kg	0.8	——	18mL	
	3kg	0.6	——	13mL	

ご注意 「eco標準」コースは、超濃縮液体洗剤（すすぎ1回と表記されている液体洗剤）をお使いください。それ以外の洗剤を使用した場合、すすぎが不十分になります。

コース	洗濯量	洗剤量目安表示	20g/30L	25g/30L	10mL/30L	20mL/30L	25mL/30L
おいそぎ	9kg	0.7	31g	39g	16mL	31mL	39mL
	6kg	0.6	26g	32g	13mL	26mL	32mL
	3kg	0.4	18g	22g	9mL	18mL	22mL
毛布	毛布 4.5kg ふとん 総質量1kg	——	必ず溶かしてからドラムへ ➡P35 27g	34g	14mL	27mL	34mL
ドライマーク	1.5kg	——	液体中性洗剤をお使いください		40mL/30Lのもの…40mL 30mL/30Lのもの…30mL		
つけおき	2kg	0.6	29g	37g	15mL	29mL	37mL

使用量は、容器の表示と異なる場合があります。

お知らせ

- **「ボールド」など泡立ちのよい洗剤は、少なめ(8割程度)に入れてください。**
- 洗剤は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。
  - ・軽い汚れの場合は、洗剤量を控えめにしてください。
  - ・洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になり衣類に残ります。特に液体洗剤は、軽い汚れでは泡立ちがよくなるのでご注意ください。
- **粉石けんは、すすぎが不十分ですと洗濯物に残り、黄ばみや臭いの原因になります。すすぎ回数を増やし、十分にすすいでください。** 粉石けんの使いかた ➡P21

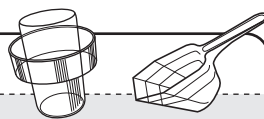
粉石けん	液体石けん	ソフト　仕上剤			酸素系液体漂白剤	
必ず溶かして ドラムに入れる 35g/30L	30mL /衣類3kg	濃縮タイプ 7mL /衣類1.5kg	10mL /衣類1.5kg	20mL /衣類1.5kg	40mL/30Ｌ	30mL/30Ｌ
45g	40mL	18mL	27mL	54mL	40mL	30mL
30g	38mL	14mL	21mL	42mL	30mL	25mL
15g	35mL	9mL	14mL	27mL	20mL	20mL

―――		18mL	27mL	54mL	40mL	30mL
―――		14mL	21mL	42mL	30mL	25mL
―――		9mL	14mL	27mL	20mL	20mL

―――	28mL	18mL	27mL	54mL	40mL	30mL
―――	27mL	14mL	21mL	42mL	30mL	25mL
―――	25mL	9mL	14mL	27mL	20mL	20mL
―――	38mL	14mL	21mL	42mL	30mL	25mL
		8mL	12mL	24mL	―――	―――
―――	27mL	9mL	14mL	27mL	27mL	20mL

洗剤・ソフト仕上剤・漂白剤量の目安

◆お使いの洗剤に合わせて洗剤量を加減してください。

- 表示の目安は、１杯が約47gの計量スプーンに合わせています。
  洗剤の種類によりスプーン１杯の洗剤量が異なります。
- 「eco標準」コースの表示の目安は、「アタックNeo」のキャップに合わせています。
  洗剤の種類によりキャップ１杯の洗剤量が異なります。

洗剤投入ケースの使いかた

洗剤と漂白剤は洗いの給水時に、ソフト仕上剤は最終すすぎ時に
自動投入されます。いずれも洗濯前に入れておいてください。➡P18

■洗剤投入ケースを手前に引き出して入れてください。

液体洗剤・漂白剤

液体洗剤と液体漂白剤は一緒に入れないでください。※
漂白剤は、粉末タイプの使用をおすすめします。

液体合成洗剤・液体石けん

- 泡立ちの少ない洗剤をお使いください。
- 流れやすくするため、別容器に同量の水で薄め、よく溶かしてから入れてください。

液体漂白剤

- 漂白剤の使用量と使いかたは、容器の表示に従ってください。
- 塩素系液体漂白剤は使わないでください。漂白剤が直接衣類に付くと変色することがあります。

ソフト仕上剤

- 流れにくいもの(濃縮タイプ)は、別容器に同量の水で薄め、よく溶かしてから入れてください。

- ソフト仕上剤を入れた後、長時間(12時間以上)放置すると固まる場合があります。

粉末合成洗剤

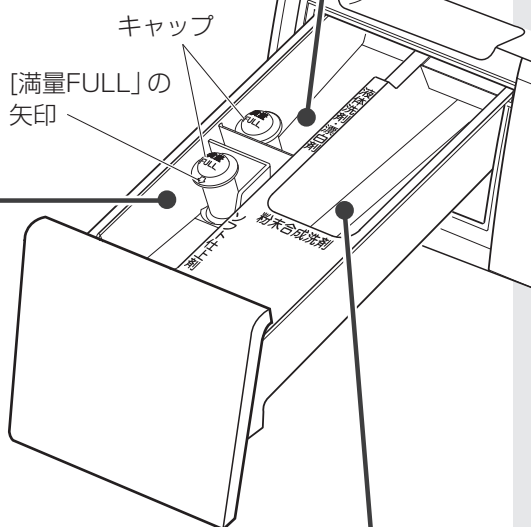
粉末合成洗剤

- ケースがぬれている場合は、拭いてから入れてください。
- 洗剤量の目安表示に従って入れてください。

酸素系粉末漂白剤

- 粉末合成洗剤と一緒に入れてください。
- 漂白剤の使用量と使いかたは、容器の表示に従ってください。

使用量の目安 ： 約10g（水30Lに対し10g使用のもの）

ご注意 粉石けんは入れないでください。➡P21

お知らせ

- こぼれた場合は、拭き取ってください。
  ケースのお手入れ ➡P50
- 洗剤投入ケースは、しっかり閉めてください。
  （水もれ及びオゾン臭の原因）
- キャップの「満量　FULL」の矢印位置以上入れないでください。サイフォン現象により、すぐに流れ出ることがあります。
- サイフォン現象でわずかに水が残ることがありますが、異常ではありません。

※液体洗剤と液体漂白剤を一緒に入れると、キャップの「満量FULL」の矢印位置を超える場合があります。
この場合、原液が洗濯槽内に流れ込み、衣類を変色させることがあります。

液体洗剤と液体漂白剤を一緒に使用するとき

1. 液体漂白剤を「液体洗剤・漂白剤」投入口に入れる
2. 容器に約30℃のぬるま湯2Lと液体洗剤を入れてかきまぜる
3. 洗濯物をよけながら、ドラム内に少しずつ流し込む

粉石けんの使いかた

1 洗濯物を入れる

2 水栓を開き、 電源を入れる

3 「洗濯」または「洗濯▶乾燥」を押し、コースを選ぶ

4 押す

5 洗剤量の目安を表示したら、を押してドアを開ける

6 容器に30℃のぬるま湯（約2L）を入れる

7 粉石けんを容器に入れ、よくかきまぜて固まったり、粒が残ったりしないようにする

- 洗剤投入ケースには、入れないでください。

8 洗濯物をよけながら、こぼさないように、ドラム内に少しずつ流し込む

9 ドアを閉め、を押す

お願い

- 「eco標準」「念入り」「おいそぎ」「毛布」「つけおき」コースと予約運転では、粉石けんを使わないでください。

  粉石けんが固まったり、コースによっては洗剤液が排水されるため

- 使用量が多すぎたり、水温が低いと完全に溶けずに衣類に残ったり、ホース・ドラムに残った粉石けんが浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。

粉石けんの臭いについて

粉石けんは、溶けにくく衣類に残りやすい傾向があります。粉石けん自体の臭いがヒーターで加熱されることにより、油くさくなる場合があります。

➡ あらかじめ、よく溶かしてからドラムに直接入れ、すすぎを3～4回に設定してください。

はじめて風呂水を使う運転をする前に

はじめての風呂水吸水運転の時には…本体内蔵の風呂水ポンプの中に一定量の水を給水させる必要があります。 ▽下記手順で設定してください。

1 水栓を開き、 を押す

2 「洗濯」を押し、「ドライマーク」を選ぶ

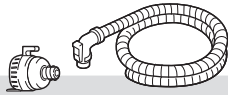
3 洗い すすぎ 脱水 をそれぞれ数回づつ押し、「洗い7分」、「すすぎ無し(消灯)」、「脱水1分」を選ぶ

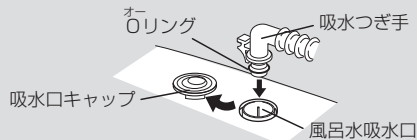
4 スタートを押す

- ドアロックします。
- ドラムに水道水が入り、排水します。

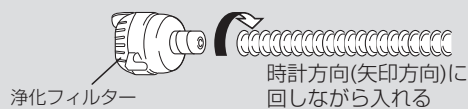
ブザーが鳴ったら、運転終了

風呂の残り湯を利用する

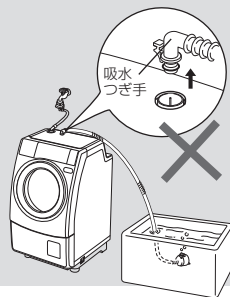
風呂水吸水ホースの取り付けかた

1 吸水口キャップをはずし、吸水つぎ手を風呂水吸水口に差し込む

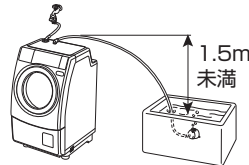
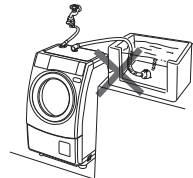
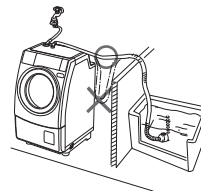
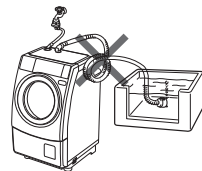
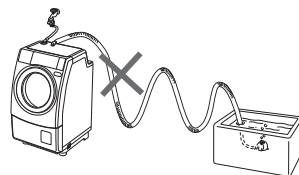
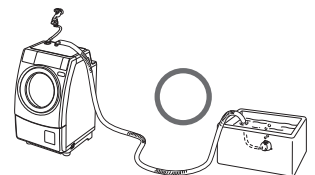
- 上に持ち上げてはずれないか確認してください。
- O(オー)リングは、はずしたり傷つけないでください。吸水できなくなります。

2 ホースの長さを調整し、浄化フィルターを差し込む

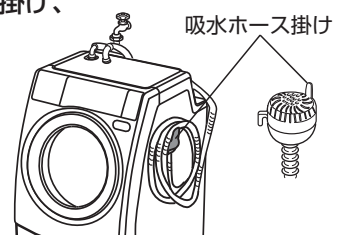
- 吸水中は水の重みでホースが垂れ下がるため、長めに調整してください。

 長い場合…浄化フィルター側を切る
 短い場合…別売のホースを使う ➡P59

- 吸水できなくなるため、ホースを傷つけない。
- 引き戸などで、はさまない。
- 無理な力をかけたり、引っぱったり、ふんだりしない。
- コンクリート角やとがった金属物(サッシ窓や浴室ドア)とのこすれに気をつける。

ご注意

浄化フィルターを浴槽に入れたまま、風呂水吸水つぎ手をはずさない。
(サイフォン現象で水が出続け床をぬらす原因)

セット時のご注意

▶ ホースの最も高い位置から水面までの高さは、1.5m未満にする

▶ 本体が浴槽の水面より低い位置で使わない
(水があふれる)

▶ 高い壁を越えるときは、たるみをなくす
(吸水できない)

▶ 巻いたまま使わない
(吸水できない)

▶ ホースを波打つように立てない
(吸水できない)

▶ ホースを床にはわせる

収　納

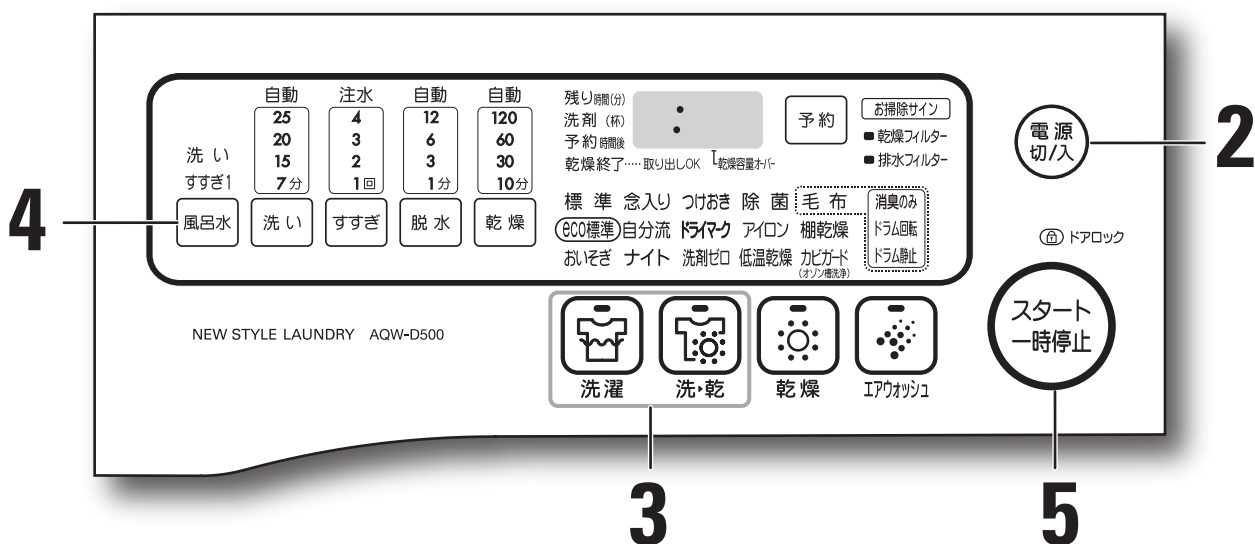
浄化フィルターを製品に掛け、吸水ホース掛けを使い、右図のように収納する

風呂水設定方法

風呂水	点灯表示	洗い	すすぎ1回目
1回押す	洗い	風呂水	水道水
2回押す	洗い すすぎ1	風呂水	風呂水
3回押す	消灯	風呂水は使用しません	

設定できない場合

- **スタート後**　●「乾燥」のみ設定時
- 「エアウォッシュ」「ドライマーク」「洗剤ゼロ」「カビガード」コースの設定時 (水道水のみ設定のため)

お知らせ

- 風呂水がなくなったり、洗濯途中で吸水しなくなった場合は、水道水が給水されます。
水道水に切り換わった場合、風呂水の「洗い」「すすぎ1」が点滅、または運転終了後、20分間「UP」を点滅します。➡P55

お知らせ

- 運転した**風呂水設定を記憶**します。（スタートから1分後に設定を記憶）次回電源を入れて、風呂水を押すと前回の設定を表示します。
- 風呂水を使う場合でも、
  必ず水栓を開けてください。
  ・ソフト仕上剤の投入に水道水を使用します。
  ・吸水中に風呂水がなくなると、水道水に切り換わります。
- すすぎに風呂水を使用する場合、すすぎ水量は「水道水のみ」よりも多い水量(風呂水)を使います。
- **入浴剤が入った風呂水を使う場合は、入浴剤の注意書をよくお読みください。**
  ・入浴剤は成分により、ソフト仕上剤と反応して衣類にうすい変色をおこしたり、ドラムを傷める原因となります。その場合は、すぐに洗剤を入れて洗濯してください。
- **発泡性のある入浴剤は、ポンプ内部で泡が生じて吸水できない場合があります。**
- **「eco標準」コースはすすぎ１回のコースです。風呂水利用をすすぎ１まで設定すると最終すすぎが風呂水となります。**

洗剤量表示中（約1分間）に洗剤をケースに入れられなかった場合

① スタート一時停止 を押して、ドアロック が消灯後、ドアを開け、洗剤などはドラム内に直接入れ、ソフト仕上剤はソフト仕上剤投入部に入れる

② ドアを閉め、 を押す
- 運転を再開します。

ご注意 **はじめて風呂水を使うときは、給水が必要です。** ➡P21

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、 電源を入れる

3   「洗濯」または「洗濯▶乾燥」を押し、コースを選ぶ

4 を押し、使用内容を設定する

5 スタート一時停止 スタートする

6 洗剤量表示中(約1分間)に洗剤を洗剤投入ケースに入れる ➡P18~20

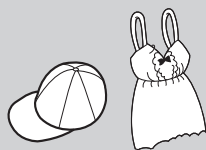
ブザーが鳴ったら、運転終了

- 乾燥終了後は、やわらか仕上げ運転をします。➡P11
  (乾燥は終了しています。早めに取り出してください。)
- 水栓を閉じてください。

エアウォッシュ

オゾンを含んだ空気を吹き付け、衣類やドラムを「除菌※」「消臭」します。オゾンのもつ強い酸化力で「除菌※」と臭いのする物質を分解して「消臭」をします。洗濯できない衣類や小物類に適しています。

エアウォッシュ できるもの(例)

- ウール、ポリエステル、キュプラ、絹
  アクリル、ナイロン、化繊混紡、革製品
- スーツ、学生服
- ジャンパー、ダウンジャケット
- 帽子、かばん、おもちゃ、ぬいぐるみ
- 革靴、スニーカー、スリッパ
- ランジェリー類
- マット類

- 衣類に付いている金属製のボタン、ファスナーは、取りはずさず使用できます。
- 糸くず、ペットの毛などが付着している場合は、ブラシなどで取り除いてください。
- ブーツなど高さのある靴などは、別売のエアウォッシュアタッチメントを使えば、つま先まで「除菌※」「消臭」できます。➡ P59
- ぬいぐるみなどを直接、乾燥棚に載せてエアウオッシュすると棚の跡がつくことがあります。その場合は霧吹きで水をかけドライヤーで形を整えると、跡がなくなります。また、事前に乾燥棚にタオルを敷いておくと、跡つきを防げます。

エアウォッシュ できないもの(例)

- 天然ゴム、ビニール製品
  酸化により劣化する場合があります。
- 金属製品
  種類によってはさびてしまう金属があります。
- 和服、和装小物、毛皮 (変色、シワの原因)
- 湿った革製品、湿った絹製品(縮み、シミの原因)
- 油のついた衣類(引火や自然発火の原因)➡ P5
  食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル（ボディオイル・エステ系オイル）、ベンジンやシンナー、灯油、ガソリン、樹脂（セルロース系）など
- 手芸用接着剤を使ったもの、発泡ウレタン(スポンジ類)の入ったもの(引火や自然発火の原因)➡ P5
- ポリプロピレン繊維製の衣類
- エアークッションの入った靴・スニーカー
  エアークッションが破裂する場合があります。

ペット(犬や猫)などの生きものは入れないでください

ご注意

- 臭いの種類によっては、消臭できないものもあります。
- ドラム内は約60℃になります。熱に弱い衣類などは、エアウォッシュしないでください。
- 革靴の運転は、15分以下にしてください。
- 折りたたんで入れたものに折りジワが入ることがあります。
  その場合は、霧吹きなどで湿らせてから温風でシワを伸ばしてください。
- 運転時の温湿度によっては、除菌・消臭性能が十分に発揮できないことがあります。

※ 試験依頼先　(財）日本食品分析センター
　試験方法　寒天平板培養法
　除菌方法　オゾン
　試験結果　99%以上

◆エアウォッシュのコースについて

ドラム回転コース

ドラムが回転して、
エアウォッシュします。

回転時のエアウォッシュの動き

水なしでドラムを回転させながらオゾンで「除菌※」「消臭」する

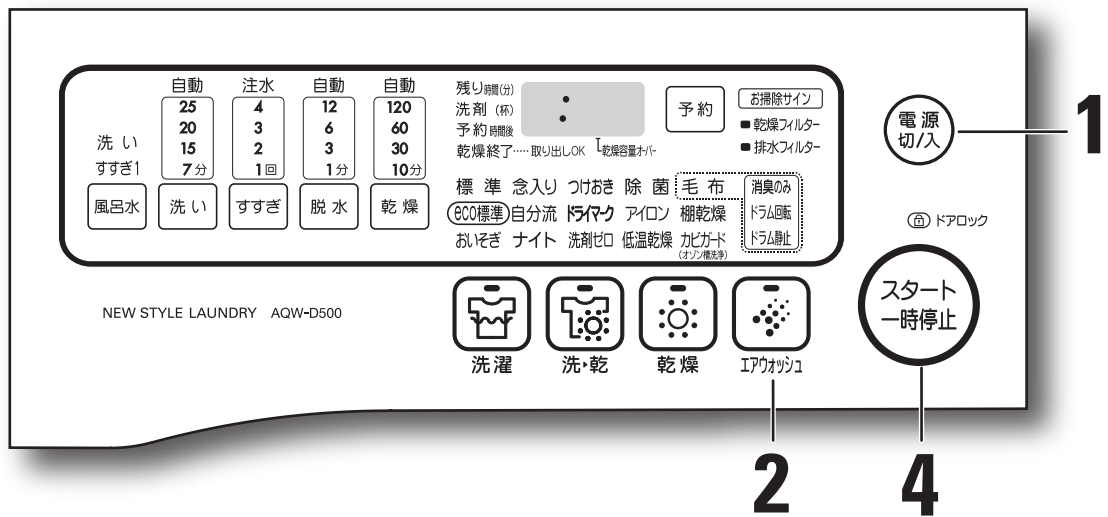
温風を出し、オゾンを酸素に戻す

ドラム静止コース

ドラムが止まったまま、エアウォッシュします。
「乾燥棚」を使用します。

「乾燥棚」の取り扱い

- **乾燥棚は「ドラム静止」以外では、セットしないでください。**(故障の原因)
  「ドラム回転」で乾燥棚をセットすると本体や乾燥棚が破損・損傷することがあります。
- 乾燥棚には、2kg以上のものを載せないでください。(破損の原因)

乾燥棚の設置方法 ➡ P40

■コース設定の目安

おすすめコース　ドラム **回転** コース…衣類、マット など
ドラム **静止** コース…かばん、靴 など

15分 (消臭のみ)		**30分** (除菌・消臭)	
⇩以下が**点灯**します。			
消臭のみ ◀ / ドラム回転 ◀	▶ 消臭のみ / ▶ ドラム静止	ドラム回転 ◀	▶ ドラム静止
●おでかけ前や帰宅後の消臭に		●焼肉やタバコのにおいが付いた衣類に	

お知らせ

- 運転開始直後に少量の水を使用するため、運転前に必ず水栓を開けてください。排水ホースは、排水口に差し込んでください。
- スタート後はチャイルドロックの設定/解除と（電源 切/入）（スタート 一時停止）以外は、受け付けません。
- オゾン作動中に一時停止や電源「切」→「入」するとドアロックが解除するまで約2～10分かかります。➡P9
- ドア(内側)やドラム内がぬれている場合は、衣類などがぬれる可能性があります。あらかじめ拭いてください。

運転できる容量　 エアウォッシュ　2kg以下

1 水栓を開き、（電源 切/入）電源を入れる

2 （エアウォッシュ）「エアウォッシュ」を押し、コースを選ぶ

3 衣類や小物類を入れ、ドアを閉める

- 乾燥棚を使用する場合は、「ドラム静止」を選んでください。

4 （スタート 一時停止）スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 乾燥棚をお使いのときは、必ず取り出してください。
- すぐに衣類を取り出してください。(放置するとシワが入る原因)
- **水栓を閉じてください。**

■「ドラム静止」設定の場合

ドアを開けるか、（電源 切/入）を押すまで電源は切れません。
(乾燥棚の取り出し忘れ防止)

エアウォッシュ毛布

毛布の「除菌※」「消臭」に適しています。
オゾンを含んだ空気を吹き付け、オゾンのもつ強い酸化力で「除菌※」と臭いのする物質を分解して「消臭」をします。

エアウォッシュ毛布 できるもの(例)

サイズ シングル 140cm×210cm以下
ダブル 180cm×230cm以下

取り扱い絵表示が
の合成繊維100%のもの
アクリル系、ポリエステル系

綿100%のもの

混紡 （例）綿ポリエステル

ウール100%のもの

タオルケット

エアウォッシュ毛布 できないもの(例)

電気毛布

ロングパイル【毛足1cm以上】
毛倒れやくせがつく原因

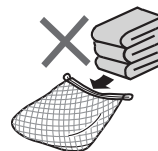
エアウォッシュコースで使用不可なもの・素材 ➡P24

ウール以外の天然繊維の毛布類
（例）**アルパカ、カシミヤ、絹**など

ウレタンクッション素材の枕
（例）低反発枕

ペット（犬や猫）などの生きものは入れないでください

ご注意

- 洗濯後や、水でぬれた毛布は、エアウォッシュしないでください。変色・変質の原因になります。
- 運転中はドラムが回転します。シワになりやすいものや、毛玉が出来やすい毛布(種類)は、使用をお控えください。
- エアウォッシュ中は、ドラム内の湿度が上昇(水蒸気が発生)する場合があります。そのため、毛布の織り方(加工法)によっては、若干、縮みが発生する場合があります。
- 洗濯機用毛布洗いネットは絶対に使わないでください。変色・変質の原因になります。
- 運転時の温湿度によっては、除菌・消臭性能が十分に発揮できないことがあります。
- 本コースは、通常のエアウォッシュコースと動作が違うため、一部、使用できるものが異なります。

◆エアウォッシュ毛布コースについて

ドラムが回転して、エアウォッシュします。

毛布の入れ方 ➡P34

- 毛布は通常の洗い方でもお洗濯できます。

毛布の「洗濯」「乾燥」
➡P34～35

※試験依頼先 （財）日本食品分析センター
試験方法 寒天平板培養法
除菌方法 オゾン
試験結果 99%以上

1 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

2 「エアウォッシュ」を押し、毛布コースを選ぶ

- ボタンを5回押すと「毛布」と「ドラム回転」が点灯し、エアウォッシュ毛布コースになります。

3 毛布を入れ、ドアを閉める

4 スタート 一時停止 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

- すぐに毛布を取り出してください。(ドラム内の湿気で湿る原因)
- 毛布は冷ましてからご使用ください。
- **水栓を閉じてください。**

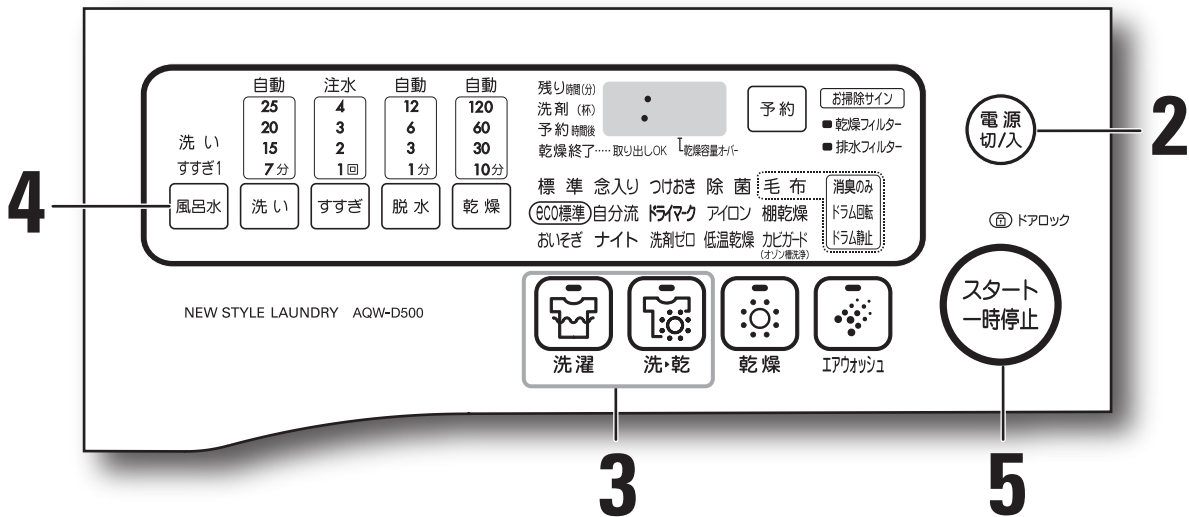
お知らせ

- 運転開始直後に少量の水を使用するため、運転前に必ず水栓を開けてください。排水ホースは、排水口に差し込んでください。
- スタート後はチャイルドロックの設定/解除と

以外は、受け付けません。
- オゾン作動中に一時停止や電源「切」→「入」するとドアロックが解除するまで約2～10分かかります。➡P9

おまかせ「洗濯▶乾燥」「洗濯」

衣類の量や乾き具合をチェックし、自動運転します。

コース		運転できる容量(以下) 洗濯	洗・乾
標　準	綿素材の下着などふだん着の洗濯・乾燥に	9kg	6kg
eco標準	超濃縮液体洗剤（すすぎ１回と表記されている液体洗剤）を使用する専用コース ●すすぎ１回で終了するため、時間短縮と節水ができます。 ●超濃縮液体洗剤（すすぎ１回と表記されている液体洗剤）以外を使用した場合、すすぎが不十分になります。	9kg	6kg
おいそぎ	軽い汚れの衣類の洗濯・乾燥を短時間に	9kg	6kg
念入り	がんこな汚れの衣類をオゾンと熱風で洗濯・乾燥 オゾン ▶ 給水 ▶ 排水 熱風 ▶ すすぎ～ オゾンプレ洗浄：水なしでドラムが回転し、オゾンで汚れを分解 パワフル濃縮洗い：低水位から濃縮洗濯液でパワフルに洗い汚れを落とす 衣類の温度を上げる：熱風で衣類の温度を上げる 洗浄：熱風で衣類の温度を上げ、がんこな汚れを落とす ● 洗い途中で排水しますが、異常ではありません。	9kg	6kg
ナイト	音が気になる夜間の洗濯・乾燥に	9kg	6kg
除菌※	綿素材の下着などのふだん着をオゾンの力で除菌※ 洗濯 最終脱水時、洗・乾 乾燥時に除菌※をします。 オゾン 熱風 ●ドラムを動かしながらオゾンと熱風で除菌※・消臭します。 ●除菌※をするため熱風が出ます。乾燥できないものは、「除菌」※コースで洗濯しないでください。 ※試験依頼先/(財)日本食品分析センター、試験方法/寒天平板培養法、除菌方法/オゾン、試験結果/99%以上	6kg	6kg
低温乾燥	化繊などの熱に弱い衣類の洗い～乾燥に（洗濯は「標準」コースと同じ） ●低温の温風で衣類にやさしく、乾きすぎを抑えます。		6kg
アイロン	アイロンがけをしたい衣類の洗い～乾燥に（洗濯は「標準」コースと同じ） ●少し湿った状態で終了します。		6kg
つけおき	しつこい汚れの衣類などのつけおき洗いに パワフル濃縮洗い(約15分) ▶ つけおき(約60分) ▶ たたき洗い ▶ すすぎ・脱水は「ナイト」コース、乾燥は「標準」コースと同じ	2kg	2kg

お知らせ

- **毛布類は、必ず「毛布」コースで運転してください。**
- 「念入り」コースでは洗剤目安を表示終了すると温風と共にオゾンを吹き込みオゾンプレ洗浄を開始します。
- **オゾンプレ洗浄中や、「除菌」コースで除菌動作をしている場合、**一時停止や電源「切」→「入」するとドアロック解除するまで約2〜10分かかります。
- 衣類の種類によっては、乾きにくい場合があるので、乾き具合に応じてお好み設定で乾燥を追加してください。➡P42
- 乾燥中に一時停止をするとドアガラスやドラムの冷却運転をします。温度が下がるまで約15分〜60分程度お待ちください。

➡P55 ドラム内高温

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 洗濯 洗・乾 「洗濯」または「洗濯▶乾燥」を押し、コースを選ぶ

4 必要に応じて 風呂水 を押し、使用内容を設定する ➡P22

- 水道水を使用する場合は、この操作は必要ありません。

5 スタート 一時停止 スタートする

- 洗濯量の測定後、洗剤量の目安を表示します。➡P18・61
- 「つけおき」コースは、スタートと同時に洗剤量の目安を表示します。

6 洗剤量表示中(約1分間)に洗剤を洗剤投入ケースに入れる ➡P18〜20

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 乾燥終了後は、やわらか仕上げ運転をします。➡P11
  (乾燥は終了しています。早めに取り出してください。)
- **水栓を閉じてください。**

おまかせ「乾燥」【乾燥のみ】

乾燥運転前に必ず水栓を開けてください。乾燥運転は水道水を使って冷却・除湿します。

コース		乾燥できる容量(以下) 乾燥
標　準	シワが気にならない普通の衣類に （綿の下着、くつ下、タオルなど）	6kg
念入り	乾きにくい厚物衣類に	6kg
除　菌	除菌したい衣類に	6kg
棚乾燥	デリケートな衣類などに ➡P39 （乾燥棚を使い、ドラムは静止）	0.5kg
低温乾燥	化繊などの熱に弱い衣類に （縮みを抑えます）	6kg
アイロン	シワが気になる衣類に （少し湿った状態で終了）	6kg
毛　布	毛布やふとん、シーツ類 などの大物に	毛　布：4kg ふとん シーツ：1kg
ナイト	音が気になる夜間の乾燥に	6kg
自分流	お好みの乾燥時間を記憶させるときに	6kg

■湿り気が残る場合

- えりもとや袖、ポケットなどの厚いところ
- 生乾きの衣類と一緒にぬれた衣類を入れたとき
- 衣類の量が少ないとき(約500g以下)
- ジーンズなど厚物を普通の衣類と一緒に乾燥したとき
  （厚物の乾きが不十分になることがあります）
- ランニングシャツなどの小物をバスタオルなど
  かさばる衣類と一緒に乾燥したとき
- パジャマやバスタオルなどの綿素材の衣類のみを
  ドラム容積の60%以上入れて乾燥したとき

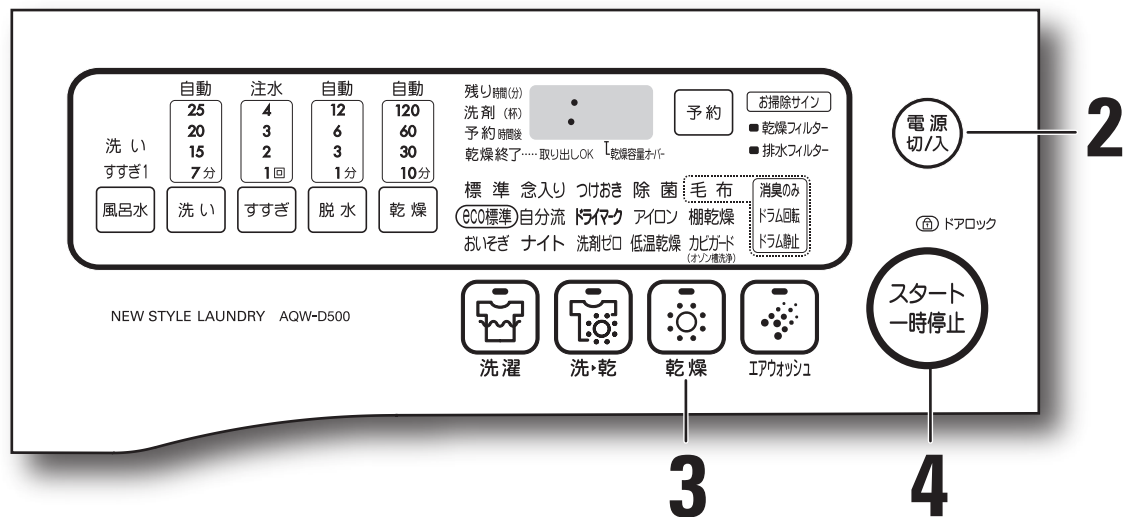
仕上げ乾燥をしてください

➡P42　お好みに合った乾燥

脱水 ボタンのとなり

乾燥 「乾燥」を押し、

時間を設定する

●お好みで設定できる時間は
　コースにより異なります。➡P60

お知らせ

●乾燥容量が約500g以下の場合は、お好み設定で時間乾燥をすることをおすすめします。
➡ P42

「乾燥」のみ運転を繰り返しする場合

5回に1回程度、何も入れずに「毛布」コースの「洗濯」運転（洗い→すすぎ→脱水）をしてください。

（糸くずがたまることによる性能の低下を防ぐため）

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 （ボタンのとなり エアウォッシュ）乾燥 「乾燥」を押し、コースを選ぶ

4 スタート 一時停止 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 乾燥終了後は、やわらか仕上げ運転をします。➡ P11
  (乾燥は終了しています。早めに取り出してください。)
- 水栓を閉じてください。

デリケートな衣類の「洗濯」 ドライマークコース

衣類の縮みを防ぐためにやさしく洗います。

洗えるもの

取り扱い絵表示が、

の衣類
ウールのセーター、シルク製品などのデリケートな衣類

ウール、カシミヤ
アンゴラのセーター
カーディガンなど

絹、麻のワンピース
ブラウス、シャツなど

学生服、セーラー服
スラックス、スカート
ジャンパー
カーテンなど

洗えないもの

取り扱い絵表示が、
の衣類

芯地を多く使っており、型くずれするもの
ネクタイ、ジャケット、スーツなど

水につけるだけで著しい収縮や変色、表面変化を起こす恐れの素材や型くずれしやすいもの
レーヨン、キュプラ、及びその混紡品、絹、ウールなどの中で強撚糸使いの生地、ジョーゼットクレープ、ちりめんなど

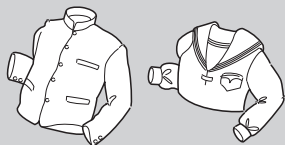
毛倒れをするもの ビロードなどのパイル地

表面の凹凸などが消えやすいもの
シワ加工品、エンボス加工品、樹脂加工品など

皮革、毛皮、装飾品のついたもの

和服、和装小物

色落ちしやすいもの

防水性のマット、シート、衣類など ➡P7

洗濯前のチェック

初めて洗う衣類は、色落ちしないか確かめる

- 洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認してください。

- スカーフや外国製の衣類には色落ちしやすいものがあります。

毛素材などでプリーツ加工のものは、開かないように糸で留める

- 糸は乾いてから取ってください。

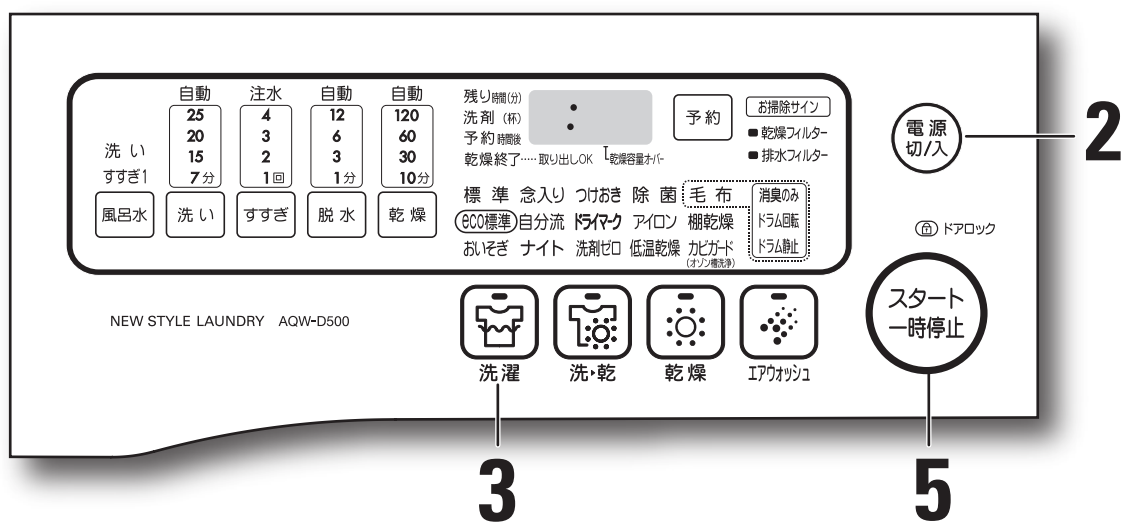
ボタン・刺しゅうが付いている衣類は裏返す

シミや部分汚れがないか確かめる

- シミは裏側にタオルをあて洗剤液をつけ、一定方向にブラッシングしてください。

- ポケット周り・そで口・えりすその汚れは、洗剤液をつけブラシなどで軽くたたいて落としてください。

カーテンなどの大物以外は、洗い時間を7分以内にする

- 自動設定は、6分になっています。
（縮みをおさえるため）
- カーテンのフックは、必ずはずしてください。

洗濯できる容量

洗濯

1.5kg以下

洗濯物の重さの目安

➡P15

お知らせ

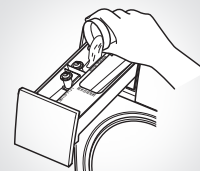
- 「ドライマーク」コースは、乾燥できません。
- 予約 風呂水 は、設定できません。
- セーターなどを１枚だけで洗うときは、脱水時のバランスをとるためバスタオル１枚を追加してください。
- 軽いセーター等は水に浮くことがあります。始めの給水時に衣類が浮いた場合は、「一時停止」して衣類を軽く押さえ、再スタートしてください。

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 洗濯 「洗濯」を押し、「ドライマーク」を選ぶ

4 液体中性洗剤を洗剤投入ケースに入れる

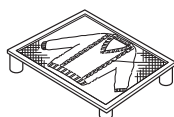
洗剤量の目安 ➡P18

5 スタート 一時停止 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 洗濯終了後、すぐに衣類を取り出してください。(長時間放置すると縮む原因になります)
- 水栓を閉じてください。

干しかた

- 風通しの良い日陰に干してください。

ウール、アンゴラ
カシミヤなどのセーター

形を整え、裏返して平干し

絹、麻などの
ブラウスやワンピース

ハンガー干し

スカート

型を整えてハンガー干し
(伸びやすいものは平干し)

スラックス

折り目を合わせて
ハンガー干し

毛布（ふとん・シーツ）の「洗濯▶乾燥」「洗濯」 毛布コース

毛布・ふとん・シーツなどの大物を洗って乾燥できます。
毛布やふとんはサイズや素材を確認して運転してください。
液体洗剤の使用をおすすめします。粉石けんは、使用しないでください。

洗えるもの

毛布

取り扱い絵表示が

の合成繊維100%のもの

シングル　140cm×210cm以下
ダブル　180cm×230cm以下

マイヤー毛布
タフト毛布
織毛布

ふとん

取り扱い絵表示が

手洗イ 30 の

- 中わたがポリエステル100%の夏掛けふとん
- 洗濯機で洗えると記載されている羽毛ふとん

サイズ　シングル　150cm×210cm以下

洗えないもの

毛布

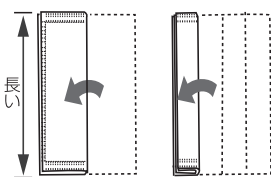
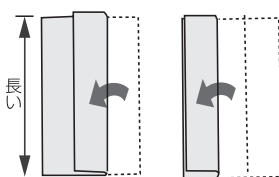
- 毛100%のもの
- 電気毛布
- ロングパイル【毛足1cm以上】(毛倒れやくせがつく原因)
- カーペットカバー・1kgを超えるもの(洗濯中にドアからの水もれの原因)

ふとん

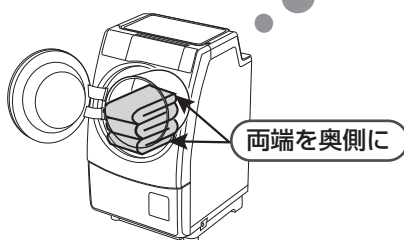
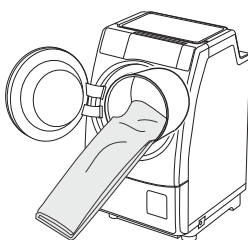
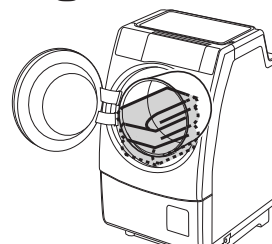
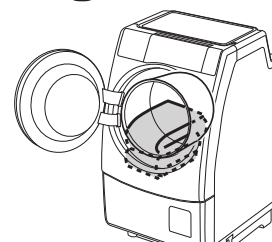
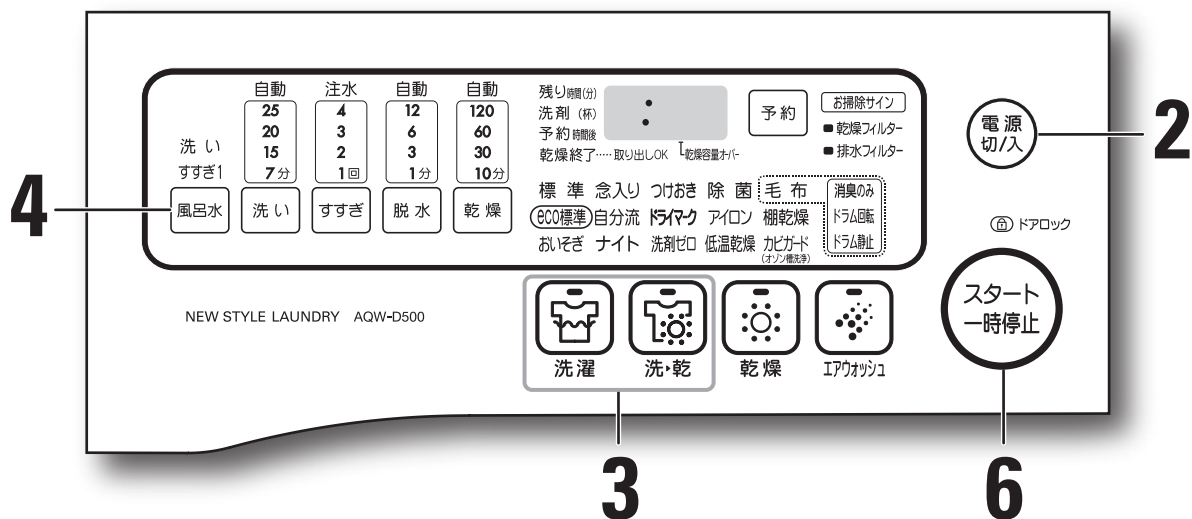
- 取り扱い絵表示のないもの
- 側生地(外側の生地)がタオル地のもの【毛足1cm以上】(乾燥すると縮む原因)
- 中わたがポリエステル、羽毛以外のもの

毛布・ふとんを入れる

1 ゴミ・糸くずを取り除き、下図のようにたたむ

毛布（4つ折り）

ふとん（3つ折り）

2 端をドラムへ入れ、びょうぶ折りになるように入れる

●手で押さえながら入れてください。

▶

- 洗濯機用毛布洗いネットは絶対に使わないでください。（脱水できません）
- 2枚以上、同時に入れないでください。ねじったり、丸めたり、無理に押し込んで洗濯すると洗濯機や毛布・ふとんが破損する原因になります。

運転できる容量

	洗濯	洗・乾
毛布	4.5kg以下	4kg以下
ふとん シーツ	1kg以下	

粉末合成洗剤を使う場合

溶け残る場合があるため、あらかじめ、溶かしてください

1. 約30℃のぬるま湯(約2L)を容器に用意して、洗剤を入れる
2. 固まったり、粉が残ったりしないようによくかきまぜてからドラム内に少しずつ流し込む
3. 毛布・ふとん・シーツを入れ、運転を始める

お知らせ

●毛布はエアウォッシュすることもできます。

エアウォッシュ毛布コース
➡ P26～27

1 毛布・ふとん・シーツを入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

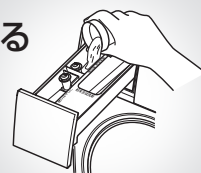
3 洗濯 洗・乾 「洗濯」または「洗濯▶乾燥」を押し、「毛布」を選ぶ

4 必要に応じて 風呂水 を押し、使用内容を設定する ➡ P22

- 水道水を使用する場合は、この操作は必要ありません。

5 液体洗剤を洗剤投入ケースに入れる

●粉末合成洗剤は、溶かしてからドラム内に直接入れてください。

洗剤量の目安 ➡ P18

6

スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

●乾燥終了後は、やわらか仕上げ運転をします。➡P11
(乾燥は終了しています。早めに取り出してください。)

●水栓を閉じてください。

洗剤を使わない「洗濯▶乾燥」「洗濯」洗剤ゼロコース

軽い汚れの物を洗剤を使わないで洗濯するコースです。
ドラム式ならではの洗いかたによる洗浄力に加え、オゾンの力で汚れを洗い落とします。
着たから洗う軽い汚れの洗濯物に適しています。

洗える もの(例)

- 一日着た軽い汚れの肌着・Tシャツ
  - ● 一日着た肌着は個人差により汚れは異なります。黒ずみが気になる場合は洗剤使用コースで洗うことをおすすめします。
- ジョギングあとのトレーニングウェア
- シミや皮脂がこびりついていない ワイシャツ・ブラウス

- 一度使ったタオル類
- 手・汗をふいたハンカチ 汗がついたパジャマ

- 赤ちゃんの肌着

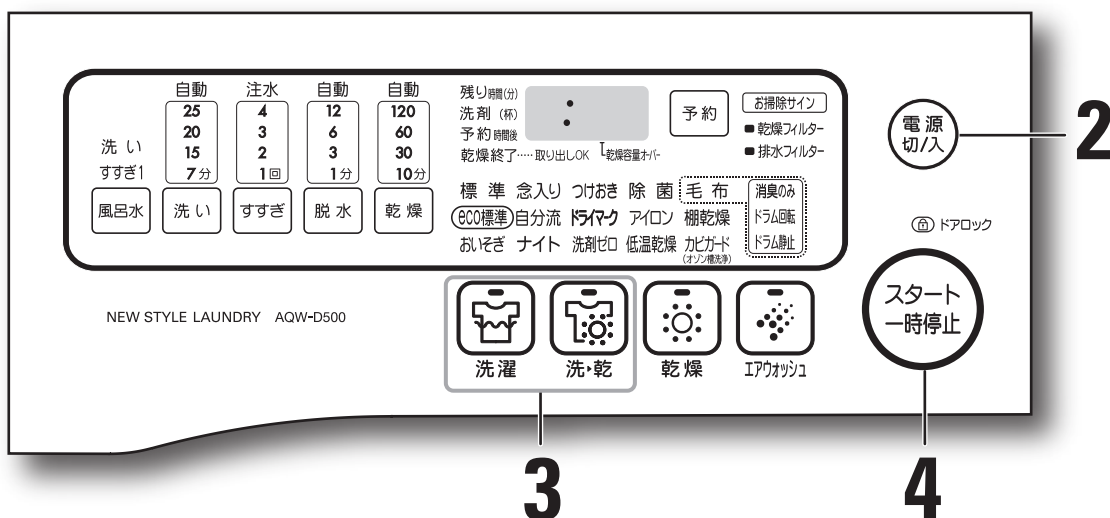
- 室内で着ていたポロシャツ・綿シャツ

洗えない もの(例)

- 黒ずんでいたり汚れが目立つ 一日着た肌着・Tシャツ

- ランジェリー、ウール製品などの 型くずれしやすいもの
- 色物・柄物など、色落ちしやすいもの（ジーンズなど）
- 油の付いた作業着や衣類
- 運動した後の泥がついた スポーツウェアや子供服
- えりやそでのこびりついた汚れ
- 黄ばみやシミのついた衣類・タオル類など
- 口紅などの化粧品のついたもの
- 染色性のある汚れがついたもの（ぶどう・桃の果汁、ウーロン茶）

●すべての汚れが落ちるわけではありません。上記の洗えないもののような汚れは落ちません。
また、有機物でも汚れの程度・質・成分によって落ちないものもあります。
そうした汚れは、従来通り洗剤使用コースをご使用ください。

●上記の洗えるものでも黒ずみやこびりついた汚れであれば、従来通り洗剤使用コースをご使用ください。

運転できる容量

6kg以下

お知らせ

- 洗い中に排水しますが、異常ではありません。
- オゾン作動中に一時停止や電源「切」→「入」するとドアロックが解除するまで約2～10分かかります。➡P9
- 傷みが気になる衣類は、洗濯ネットに入れてください。➡P14
- えりやそでなどの汚れが目立つ場合、部分洗い用洗剤をつけて洗うと効果的です。
- 風呂水 は、設定できません。

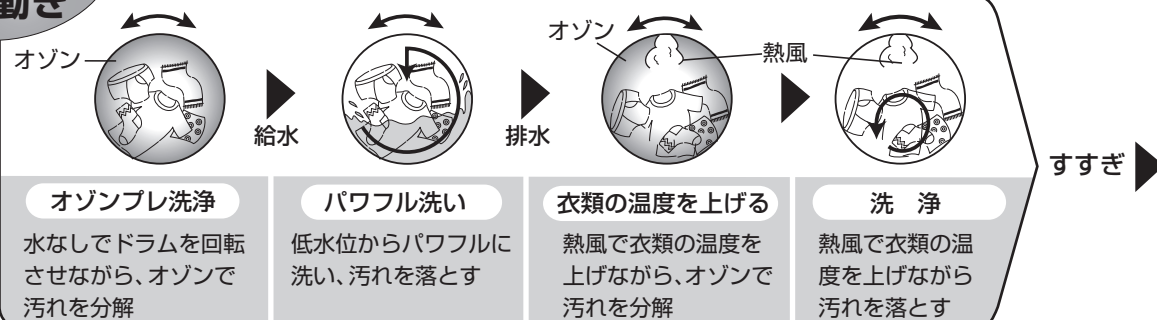
1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 洗濯 洗・乾 「洗濯」または「洗濯▶乾燥」を押し、「洗剤ゼロ」を選ぶ

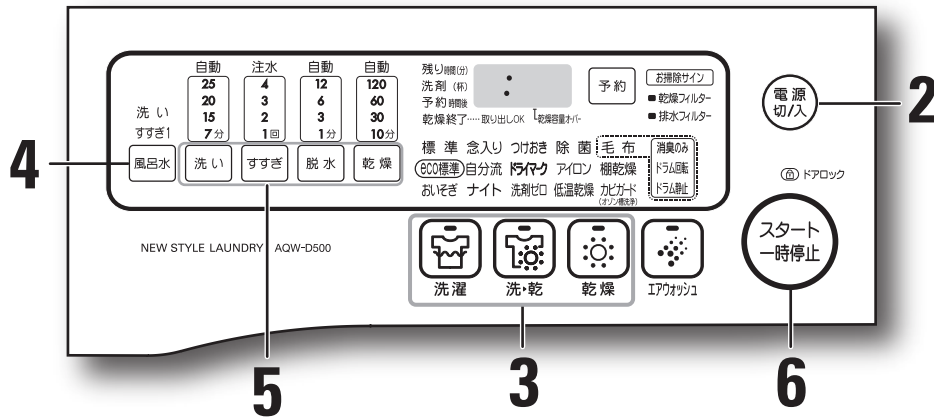
4 スタート 一時停止 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 乾燥終了後は、やわらか仕上げ運転をします。➡P11
  (乾燥は終了しています。早めに取り出してください。)
- **水栓を閉じてください。**

自分の運転内容を記憶させる 自分流コース

お好みの運転内容を「洗濯▶乾燥」「洗濯」「乾燥」とそれぞれ個別に記憶させることができます。
次からは、「自分流」コースを選ぶと前回に設定した運転内容で運転することができます。

運転できる容量

洗濯 9kg以下

洗・乾

乾燥

6kg以下

お知らせ

- 購入時は、「標準」コースの運転内容が設定されています。
- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いた場合も記憶しています。➡P61
- シャワーすすぎをするコースでもすすぎから運転をはじめる場合は、シャワーすすぎを行いません。

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

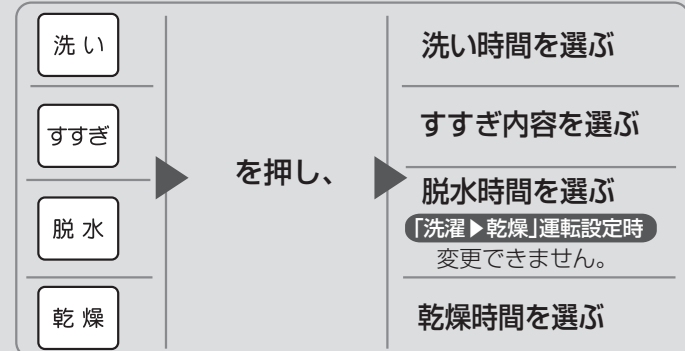
3 洗濯 洗・乾 乾燥 「洗濯」または「洗濯▶乾燥」または「乾燥」を押し、「自分流」を選ぶ

4 「洗濯▶乾燥」「洗濯」運転設定時

必要に応じて を押し、使用内容を設定する ➡P22

- 水道水を使用する場合は、この操作は必要ありません。

5 を押し、

ボタン	内容
洗い	洗い時間を選ぶ
すすぎ	すすぎ内容を選ぶ
脱水	脱水時間を選ぶ 「洗濯▶乾燥」運転設定時 変更できません。
乾燥	乾燥時間を選ぶ

6 スタート 一時停止 スタートする

- スタート約１分後に前回の内容は消え、新しい内容が記憶されます。
- 洗濯量の測定後、洗剤量の目安を表示します。➡P18・61

7 「洗濯▶乾燥」「洗濯」運転設定時

洗剤量表示中(約1分間)に洗剤を洗剤投入ケースに入れる

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 乾燥終了後は、やわらか仕上げ運転をします。➡P11
  (乾燥は終了しています。早めに取り出してください。)
- 水栓を閉じてください。

乾燥棚を使った乾燥 棚乾燥コース

デリケートな衣類や熱に弱い衣類の乾燥に適しています。
ドラム内に乾燥棚を取り付け、ドラムを静止して乾燥します。

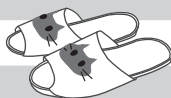
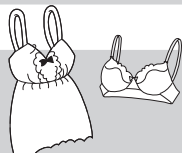
乾燥できるもの(例)

ウール・アクリルのセーター(1枚)

ポリエステルなどのブラウス・シャツ(1枚)

化繊混紡・アクリルなどの帽子(1個)

ズック、スニーカー(1足)

スリッパ (1足)

ランジェリー(1～2着)

ご注意

取り扱い絵表示、及び素材表示のないものは、クリーニングに出すことをおすすめします。

乾燥できないもの(例)

- 靴の表示(注意書)に直射日光、ストーブなどでの乾燥はさけてください。などの記載があるもの
- コーティング加工、樹脂加工(接着剤を使用したもの)、エンボス加工 (凹凸模様)をしたもの
- レーヨン、キュプラ、アンゴラ、カシミヤ及びその混紡品
- ウールなどで強くよじった糸(強撚糸)を使用したもの(特に織り柄)
- 皮革製品、皮革装飾品、革靴
- 装飾品(羽・毛皮など)のついた衣類
- 和服、和装小物
- スーツ、コート、絹製品
- 絹の衣類
- ビロードなどのパイル地
- 特殊な機能や素材を使用しているもの
  (例)●靴底などに特殊ガスなどを封入しているもの
  ●熱に弱いウレタン製の靴の中敷など
  ●ランプ付きの靴

乾燥時間の目安

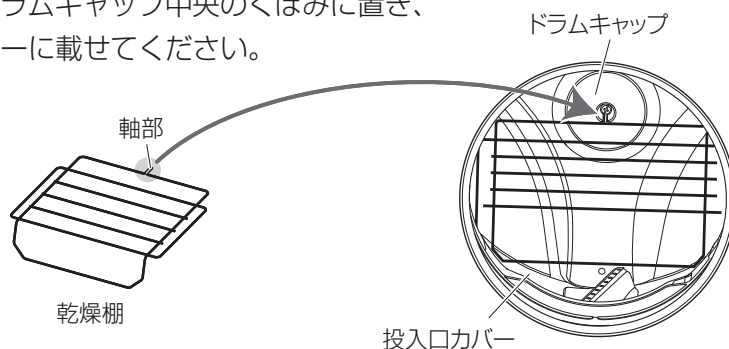
衣類	時間
● セーター 【アクリル】 (1枚)	約120分
【ウール】 (1枚)	約180分
● 野球帽 (1個)	約60分
● ニット帽【アクリル】 (1個)	約90分
● ブラジャー (2着)	約70分
● キャミソール (1着)	約60分
● ズック (1足)	約90分

衣類の大きさ、繊維の種類によって乾き具合が異なります

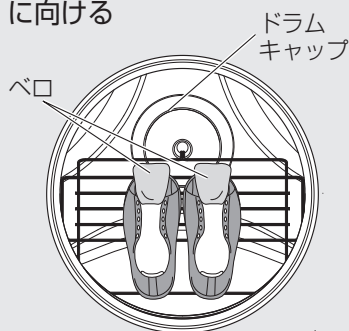
乾燥棚を使った乾燥（つづき） 棚乾燥コース

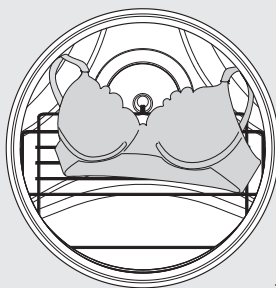
■乾燥棚の設置方法

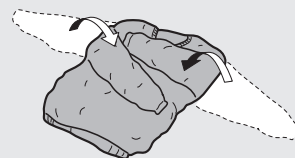
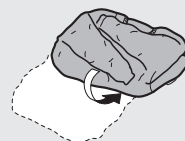
乾燥棚は、ドラム内に水平に設置し、衣類や小物類を載せてください。

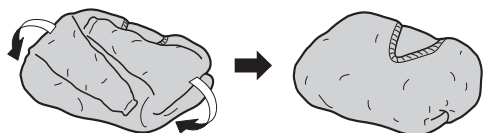
●乾燥棚の軸部をドラムキャップ中央のくぼみに置き、手前は投入口カバーに載せてください。

乾燥棚には、2kg以上のものを載せないでください。(破損の原因)

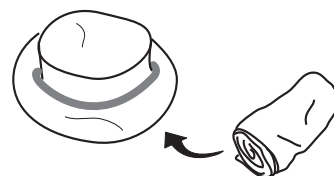
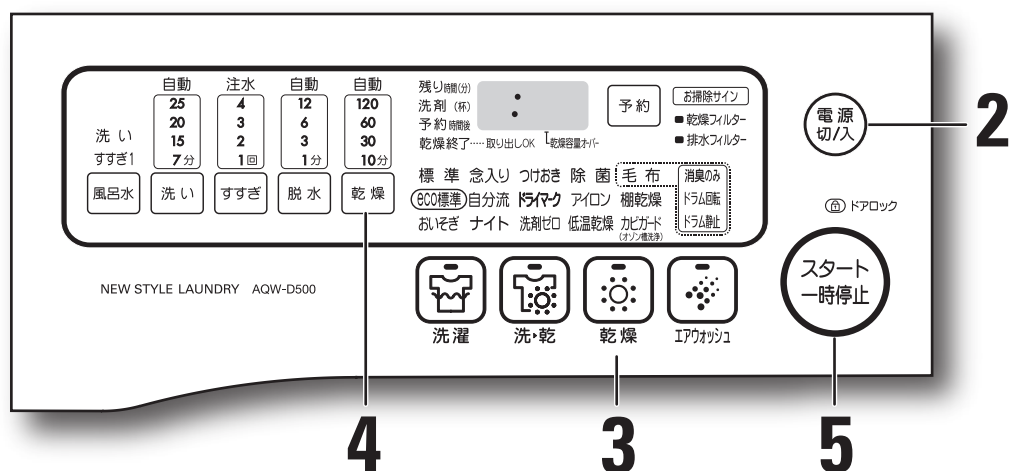
スニーカー

ひも付きの場合は、ひもを取り、ベロを上に出し、つまさきをドラムキャップ側に向ける

ランジェリー

ブラジャーは、カップの上側をドラムキャップ側に向ける

セーター

1 そでが重ならないように畳む

2 えりをドラムキャップ側に向けて載せる

■乾きが足りないとき

- もう一度「棚乾燥」コースで追加乾燥をしてください。
- セーターなどは、そでの部分を最初と反対側に畳んでもう一度乾かしてください。または、アイロンで仕上げてください。

■帽子を上手に乾燥するには

- 乾いたタオルを丸めて帽子の中に入れ、帽子の形を整えてから乾燥すると型くずれが少なくなります。

乾燥できる容量

お知らせ

- 運転終了直後や運転を一時停止したときに乾燥棚・ドラムなど金属部に触れると熱い場合があります。十分注意してください。
- 予約 は、設定できません。

1 乾燥棚・衣類や小物をセットし、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 （エアウォッシュ ボタンのとなり） 乾燥 「乾燥」を押し、「棚乾燥」を選ぶ

4 （脱水 ボタンのとなり） 乾燥 「乾燥」で時間を設定する

- 購入時は、自動に設定されています。
- 乾燥 を押す毎に「60→120→自動→10→30→…」と変更できます。

5 スタート 一時停止 スタートする

▼

ブザーが鳴ったら、運転終了

乾燥棚の取り出し忘れ防止のため、ドアを開けるか、電源 切/入 を押すまで電源は切れません。

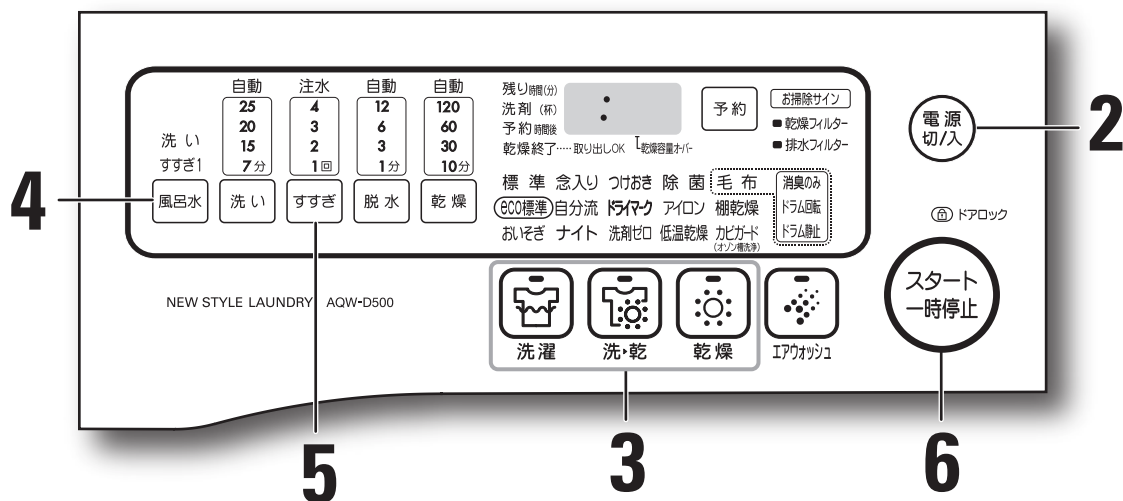
6 衣類や小物類を取り出す

- 早めに取り出してください。(折りたたみジワなどを少なくするため)

7 水栓を閉じ、乾燥棚を取り出す

- 終了直後は乾燥棚が熱い場合があります。やけどの原因になるので十分冷えてから取り出してください。

内容をお好みで変更する【脱水のみなど】

各コース内容を変更して、お好みに合った洗濯・乾燥ができます。
洗い〜すすぎまで、洗いのみなどといった使いかたもできます。

お知らせ

- オゾン作動中に一時停止や電源「切」→「入」するとドアロックが解除するまで約2〜10分かかります。➡P9
- シャワーすすぎをするコースでもすすぎから運転をはじめる場合は、シャワーすすぎを行いません。

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

3 洗濯 洗・乾 乾燥 「洗濯」または「洗濯▶乾燥」または「乾燥」を押し、コースを選ぶ

4 「洗濯▶乾燥」「洗濯」運転設定時

必要に応じて 風呂水 を押し、使用内容を設定する ➡P22

- 水道水を使用する場合は、この操作は必要ありません。

5

洗い	を押し、	洗い時間を選ぶ
すすぎ		すすぎ内容を選ぶ
脱水		脱水時間を選ぶ 「洗濯▶乾燥」運転設定時 変更できません。
乾燥		乾燥時間を選ぶ

6 スタート 一時停止 スタートする

- 洗剤・ソフト仕上剤及び漂白剤の入れかたは、各コースを参照してください。

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 乾燥終了後は、やわらか仕上げ運転をします。➡P11
  (乾燥は終了しています。早めに取り出してください。)
- 水栓を閉じてください。

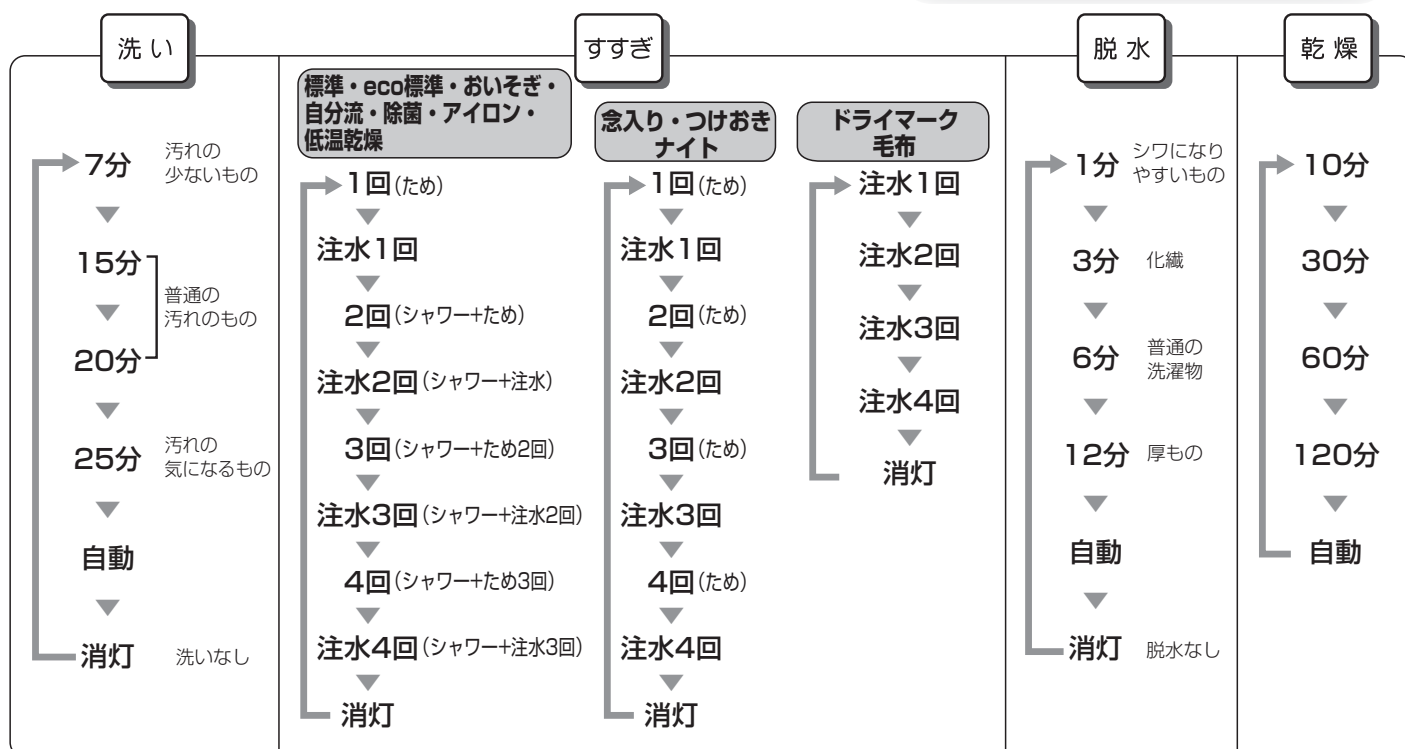
■例えば…下記コースの「洗濯」のみ設定の場合

- コース名が点灯しているときに、洗い すすぎ 脱水 乾燥 のいずれかのボタンを押し、設定内容を表示させてから、下記のようにボタンを押して設定してください。
- 設定内容が表示されるコースの場合は、必要な箇所以外の表示を消灯させてください。
- 「洗いのみ」「すすぎのみ」設定などで洗濯水やすすぎ水が残る場合は、ドアが開けられる水位まで排水して止まります。
- ※「念入り」「つけおき」コースは、洗い時間の変更と洗いなし運転の設定はできません。

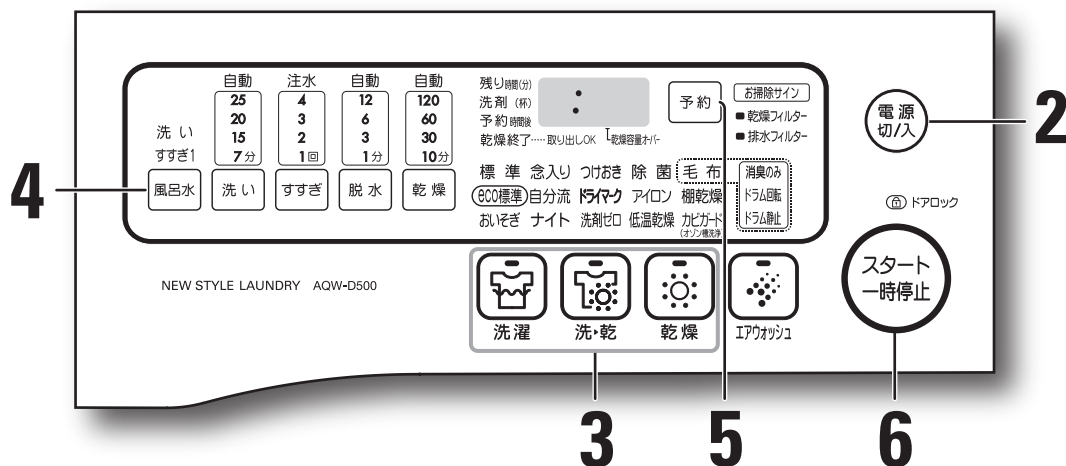
こんなときは	コース選択	◦標準 ◦eco標準 ◦おいそぎ ◦※念入り ◦ナイト ◦※つけおき	◦自分流 ◦毛布(ふとん) ◦ドライマーク
洗いのみ (洗濯水が残る)	洗濯 を押す	洗い を押す	洗い ■すすぎ ■脱水 を押す
予洗い		洗い 脱水 を押す	洗い ■すすぎ 脱水 を押す
脱水しない すぐ干さない (すすぎ水が残る)		洗い すすぎ を押す	洗い すすぎ ■脱水 を押す
すすぎのみ (すすぎ水が残る)		すすぎ を押す	■洗い すすぎ ■脱水 を押す
すすいで脱水		すすぎ 脱水 を押す	■洗い すすぎ 脱水 を押す
脱水のみ		脱水 を押す	■洗い ■すすぎ 脱水 を押す

□：このボタンを押して、お好みの時間や回数を設定してください。　■：このボタンを押して、表示を消灯させてください。

■それぞれのボタンを押すごとに、矢印の方向に移動します。

設定できる内容は、コースにより異なります
➡ P61 お好み設定できる内容

※初期に表示される時間、すすぎ回数などはコースにより異なります。

予約運転をする

運転の終了時間を予約できます。
「エアウォッシュ」「ドライマーク」「棚乾燥」「カビガード」コースは予約できません。

予約待機中の予約内容の確認

予約 を押すと10秒間表示

予約の取り消し

電源を切る

予約の変更

一度電源を切って、設定し直す

お願い

- **予約前に水栓から水もれがないか確認してください。**
- **粉石けんは、固まる場合があるので使わないでください。**
- ソフト仕上剤は衣類にこぼさないでください。(シミ・色落ち・傷みの原因)水洗いして落ちない場合は、洗剤をつけて、もみ洗いしてください。(予約時は長時間放置するため)

お知らせ

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電した場合、予約は取り消されます。
- 終了時間は、水道水圧、排水条件などにより変わります。
- 予約 を押した後は、

以外は受け付けません。

1 洗濯物を入れ、ドアを閉める

2 水栓を開き、電源切/入 電源を入れる

3 洗濯 洗・乾 乾燥 「洗濯」または「洗濯▶乾燥」または「乾燥」を押し、コースを選ぶ

4 「洗濯▶乾燥」「洗濯」運転設定時

必要に応じて を押し、使用内容を設定する

➡P22

- 水道水を使用する場合は、この操作は必要ありません。

5 予約 を押し、今から何時間後に終了させたいかを選ぶ

- 最長12時間後までを1時間単位で予約できます。(2時間～12時間)
- 予約できる時間は、運転内容やコースにより異なります。

6 スタート一時停止 スタートする

- 洗濯量の測定後、洗剤量の目安を表示します。➡P18・61

7 「洗濯▶乾燥」「洗濯」運転設定時

洗剤量表示中(約1分間)に洗剤を洗剤投入ケースに入れる (約1～2分後に予約ランプ以外が消灯)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 乾燥終了後は、やわらか仕上げ運転をします。➡P11(乾燥は終了しています。早めに取り出してください。)
- 水栓を閉じてください。

こんなとき

ドラムの水を排水したい

1 ドアを閉める

2 電源「切」の状態で すすぎ を押しながら、電源 切/入 を押し、そのまま すすぎ を約4秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了

3 スタート 一時停止 押す

「dE」と表示する

(デモモードになっています)

電源「入」の状態で、 を約4秒間押し続ける

- 「ピピッ」と鳴り、解除が完了

チャイルドロックしたい

（お子さまの安全のため）

電源「入」の状態で「乾燥」を約6秒以上押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了
- 「 UL 」と表示

▶ 上記と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、解除完了

- 一度設定すると、解除するまで開けられません。いつでも設定／解除ができます。

のりづけしたい

■のりづけできる洗濯物 1.5kg以下

■使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり(酢酸ビニール系)

- 上記以外は故障の原因になるため、使わないでください。

のりの量は、容器に表示されている分量を目安にしてください。

1 のりを1Ｌ程度の水で薄め、ドラムに入れる

2 洗濯物を入れ、ドアを閉める

3 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

4 洗濯 「洗濯」を押し、「毛布」を選ぶ

5 必要に応じて 風呂水 を押し、使用回数を設定する ➡P22

- 水道水を使用する場合はこの操作は必要ありません。

6 「洗い7分」「すすぎなし」「脱水1分」を設定する

7 スタート 一時停止 スタートする

終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出し、ドラムに付いたのりを洗う

上記と同じコース内容で運転する **3**～**7**

- 運転終了後、水栓を閉じてください。

お願い

- **のりづけした衣類は、乾燥しないでください。**(故障の原因)

運転後、小物衣類が見当たらない

ドアパッキンの下を確認してください。

こんなとき（つづき）

凍結の恐れがある

防止方法

その1　凍結防止設定をする

ドラム・排水ホースの水を運転終了9分後に、自動で排水します。
設定すると運転終了してから10分間「Ud」が点灯します。

電源「切」の状態で [脱水] を押しながら、(電源 切/入) を押し、そのまま [脱水] を約4秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定が完了

解除 ▶ 上記と同じように押す

- 「ピピッ」と鳴り、解除が完了

その2　給水ホースの水を十分に抜く ➡P49 給水口 1～5

その3　風呂水吸水ホースの水を十分に抜く

その4　風呂水ポンプ部を保温する

- ポンプには常に水が入っています。本体の後ろ上部に毛布などを掛けて保温してください。

風呂水ポンプ

凍結したとき…

1　接続部及び給水ホースを熱い蒸しタオルで包む

2　「60分」の乾燥運転をする

➡P42　お好みに合った乾燥

- 本体内部の給水ホースの氷を溶かすためです。
- 水栓が開いていることをご確認ください。
- 「E 11」表示をして運転が停止した場合、

を2度押して運転を再開してください。

3　運転終了後、次の確認をする

- 洗剤投入ケースに約400mLの水を入れて、水がたまらないか。▶たまるときは、再度上記 **2** を行う。
- 運転して給水・排水するか。
- 風呂水が吸水されるか。
  - ▶給水しない、風呂水が吸水されないときは、給水ホース・風呂水吸水ホース・浄化フィルターをお湯（50℃未満）につけ、ホース内の氷を溶かす。
  - ▶給水ホース・風呂水吸水ホースをつないで水栓を開き、運転ができるか確認をする。

ご注意

- **風呂水ポンプ・吸水ホースなどは凍結させた状態では使わないでください。**（故障の原因）

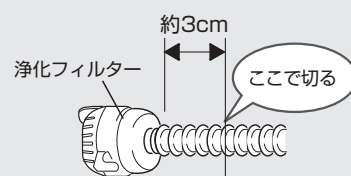
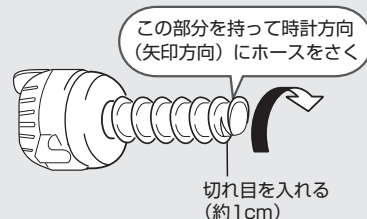
運転途中で変更したい

■「洗い」「すすぎ」「脱水」の内容のみ、洗い終了までは変更できます。

- 但し、「エアウォッシュ」「棚乾燥」「カビガード」コースは変更できません。
  「洗剤ゼロ」コースの脱水以外は変更できません。
- コースにより変更を受け付けない行程があります。
  ➡P61　お好み設定できる内容
- 「洗濯▶乾燥」設定時、「脱水」の変更はできません。

■その他の変更は電源を切り、再び「入」にしてから設定し直してください。

浄化フィルターをホースからはずしたい

1　浄化フィルターの根元から約3cmの所でホースを切断する

2　浄化フィルターに付いているホースを取り除く

知っておくと便利【調整機能】

終了ブザーを消す

電源「切」の状態で を押しながら、 を押し、そのまま を約4秒間押し続ける

● 「ピー」と鳴り、設定が完了

再び鳴らしたいとき ▶ 上記と同じように操作する

● 「ピピッ」と鳴り、設定が完了

やわらか仕上げ運転をやめる

電源「切」の状態で 乾 燥 を押しながら、 を押し、そのまま 乾 燥 を約4秒間押し続ける

● 「ピー」と鳴り、設定が完了

やわらか仕上げ運転について ➡ P11

解除 ▶ 上記と同じ操作をする

● 「ピピッ」と鳴り、解除が完了

●脱水を立ち上がりやすくする
●脱水音を静かにする

脱水を立ち上がりやすくする

➡ **脱水調整(スムーズ)設定**
(振動音が大きくなることがあります)

脱水音を静かにする

➡ **脱水調整(音低減)設定**
(脱水の立ち上がりが遅くなります)

1 電源「切」の状態で を押しながら、 を押し、そのまま 洗・乾 を約4秒間押し続ける

● 「ピー」と鳴り、「888」と表示

2 脱 水 を押し、調整する

3分：標準（購入時の設定）
↓
6分：立ち上がりをスムーズにさせる
(振動音が大きくなることがあります)
↓
1分：振動・音を抑える
(運転時間が長くなることがあります)

3 押す

● 「ピー」と鳴り、「888」が消灯し、設定が完了

4 電源 切/入 電源を切る

解除 ▶ 上記と同じ操作をする
「3分」に戻す

● 「ピー」と鳴り、解除が完了

知っておくと便利【調整機能】（つづき）

タオル仕上げ機能を設定する
（タオルなどのゴワゴワが気になる）

タオル仕上げ機能
（解除するまで記憶しています）

- 脱水終了後、ドラムを約10分間回転させ、タオルのパイル倒れを直す機能です。
- 「標準」「eco標準」「おいそぎ」「念入り」「自分流」「洗剤ゼロ」「ナイト」「つけおき」コース以外は、行いません。

電源「切」の状態で を押しながら、 を押し、そのまま を約4秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了

お知らせ
- **最終脱水回転で“回転させて停止”を繰り返しますが異常ではありません。**
- タオル仕上げ中は「0」を点滅します。一時停止を押すとタオル仕上げ運転は終わります。

設定しても、まだ気になるとき

洗濯運転でソフト仕上剤を使用し、乾燥運転（標準コース）をしてください。
- タオルだけ、短時間(例えば「30分」)の乾燥運転をすると効果があります。その場合、乾燥終了後、天日干しをしてください。

➡ P42～43　お好みに合った乾燥

- 乾燥時間は、洗濯量に応じて切り替えてください。

解除　▶ 上記と同じ操作をする
- 「ピピッ」と鳴り、解除が完了

シャワーすすぎをやめる

1 電源「切」の状態で を押しながら、 を押し、そのまま 洗・乾 を約4秒間押し続ける
- 「ピー」と鳴り、「888」と表示

2 すすぎ を押し、
「シャワーすすぎ【 oFF 】」を選ぶ

シャワーすすぎ【on 】（購入時の設定）
↓
シャワーすすぎ【oFF】

- 設定後は、設定内容を記憶します。

3 押す
- 「ピー」と鳴り、設定が完了

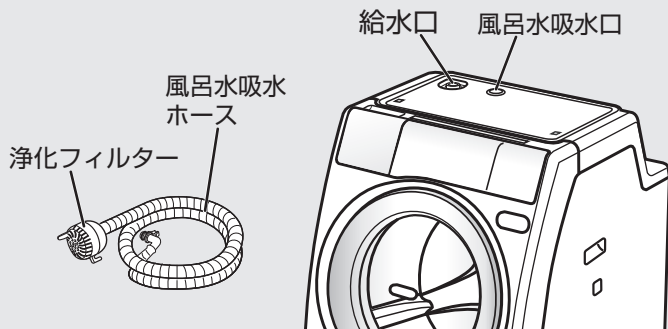
4 電源を切る

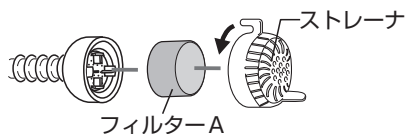
解除　▶ 上記と同じ操作をする
シャワーすすぎ【on 】を選ぶ
- 「ピー」と鳴り、解除が完了

洗剤投入の待ち時間(約1分間)をカットする(待ち時間が長いと感じる場合)

洗剤量表示中に洗剤などを入れてから
 を2度押す
- 運転が始まります。

乾き具合の調整 ➡ P16　乾燥のポイント

お手入れ

浄化フィルター　週1回程度

1 ストレーナを左に回してはずす

2 ストレーナとフィルターAを水洗いする

3 ゴミを毛のかたいブラシなどで取る

ワイヤーブラシは使わないでください

お知らせ

- フィルターAは消耗部品です。
  販売店、または当社 総合相談窓口 にご相談のうえお買い求めください。➡P59・64
- ゴミが詰まったまま使用すると、自動で水道水に切り換わる場合があります。

風呂水吸水ホース　月1回程度

一般家庭用に市販されている浴室などの排水口用洗浄剤をお使いください。

1 ストレーナを左に回してはずす
上記参照

2 両端を持ち上げたまま、洗浄剤をホースに入れる

- 軽く振り、内部までまんべんなく移動させる。

3 ぬるま湯(約30℃)を流し込む

- コップ一杯分(約200mL)のぬるま湯を流し込み、バケツなどに入れ、約6時間放置する。

4 ホース内部を水道水ですすぐ

給水口

水の出が悪くなったら…

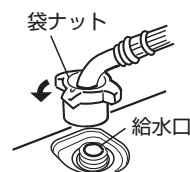
1 電源 切/入　水栓を閉め、電源を入れる

2 洗濯　「洗濯」を押し、「ドライマーク」を選ぶ

3 スタート 一時停止　押す（ホース内の水圧を下げて水の飛び散りを防ぐため）

4 スタート 一時停止　約1分後に押す

5 電源 切/入　ドアロック 消灯後、電源を切る

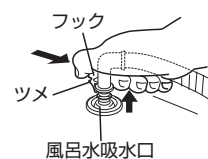
袋ナットをゆるめてはずし、ゴミを歯ブラシなどで取り除く

風呂水吸水口（ポンプフィルター）　月1回程度

洗濯物は、ドラムから出しておいてください。

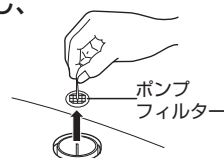
ご注意

- ゴミが詰まったまま使用すると、風呂水の吸水が悪くなります。
- 指や異物を入れたり、水栓からのホースをつながないでください。(感電や故障の原因)
- ポンプフィルターは、必ず取り付けてください。
  (風呂水ポンプの故障の原因)

1 浴槽から浄化フィルターを出し、排水できる所に置く

2 フックを指で押し、ツメをはずしてゆっくり持ち上げる
(水の飛び散りを防ぐため)

3 ポンプフィルターを取り出し、ゴミを洗い流す

- 芯棒を前後左右に倒し気味にすると簡単に取り出せます。

知っておくと便利【調整機能】・お手入れ

洗剤投入ケース

ケース内に洗剤などが残っていたり、汚れていたら…

1 手前に止まるまで引き出す

2 両手で上に持ち上げながら引き出す

3 水洗いする

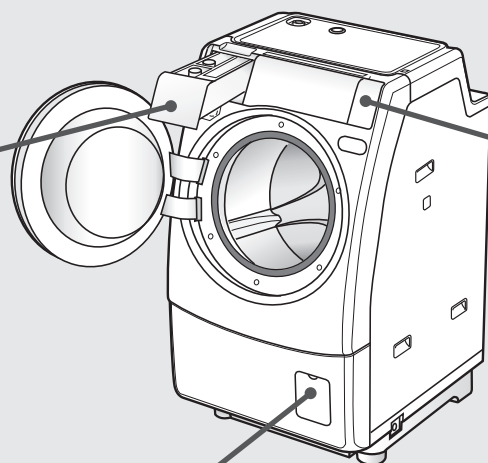
4 斜め上からはめ込み、押して閉める

お知らせ

- 運転後、ケースをセルフクリーニングした水が残っていることがあります。
- 液体合成洗剤・漂白剤は、ケース内の水を捨ててからお使いください。
- **運転中のお手入れやケースやキャップをはずしたまま、運転をしないでください。**
  (水もれ及びオゾン臭の原因)

排水口，排水ホース ときどき

排水口や排水ホースに糸くずやゴミなどが詰まると、排水ができない原因になります。

- 定期的に糸くずを取り除いてください。

排水フィルター

●「乾燥」のたびに
●「排水フィルターのお掃除サイン」表示時に

ご注意

- **糸くずなどがたまったまま運転すると乾燥性能が低下します。**
- **運転中のお手入れや排水フィルターをはずしたまま、運転をしないでください。**
  「UH」(排水フィルター抜け)と表示されます。
  (水もれ及びオゾン臭の原因)

1 カバーを手前に開く

2 左に回し、排水フィルターを引き出す

3 糸くずなどのゴミを取る

●ゴムパッキンの表面やネジ部の糸くずなどは取り除いてください。

4 排水フィルターを差し込む

●正しくセットされていない場合は、奥まで入りません。

5 右に回し、**しっかりと締め、カバーを閉める**（合印と凸部を合わせる）

●カバーが閉まらない場合
➡排水フィルターがしっかり締まっていません。(水もれの原因)再度しっかりと締め直してください。

6 「お掃除サイン(排水フィルター)」が点滅しているときは、電源を切る

糸くずがなくても「お掃除サイン(排水フィルター)」が点滅している場合

- 排水ホースを確認してください。(据付説明書 ➡ P11)
  途中10ｃｍ以上高くなっていませんか。つぶれていませんか。
- 排水口（フィルターやトラップ部）に糸くずなどが詰っていませんか。

※排水状態が悪いと運転時間が長くなる場合があります。

乾燥フィルター

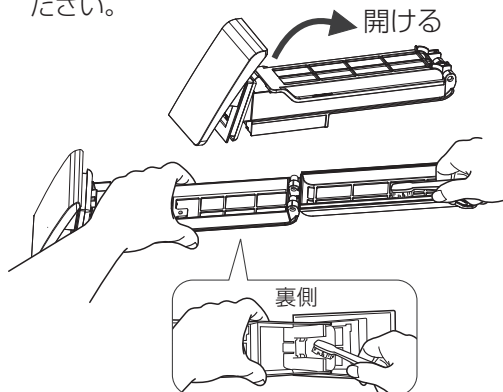
●「乾燥」のたびに
●「乾燥フィルターのお掃除サイン」表示時に

ご注意

●**運転中のお手入れはしないでください。運転が止まります。**
「UC」(乾燥フィルター抜け)と表示されます。
(ほこりが舞いあがったり、オゾン臭の原因)

1 乾燥フィルターを取りはずす

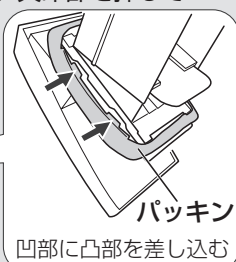
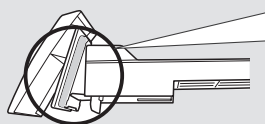
2 歯ブラシなどで、網を破らないように糸くずをとる

●網に粉状のほこりが付着して取れない場合は、台所洗剤を付けて水洗いし、よく乾かしてください。

3 「お掃除サイン(乾燥フィルター)」が点滅しているときは、電源を切る

点滅
お掃除サイン
乾燥フィルター
排水フィルター

お知らせ

● 網が破れた状態で運転しないでください。
(糸くずが機内に入り、故障の原因)
乾燥フィルターが破損した場合は販売店、または当社 総合相談窓口 にご相談のうえお買い求めください。 ➡P59・64

● パッキンがはずれたときは、矢印部を押してはめ込んでください。
正しくセットできていない場合は、奥まで入りません。

● 普段使わないときは、乾燥フィルターを少しあけておくと、カビを防ぐことができます。

本 体

水滴・糸くず・汚れがついたら…

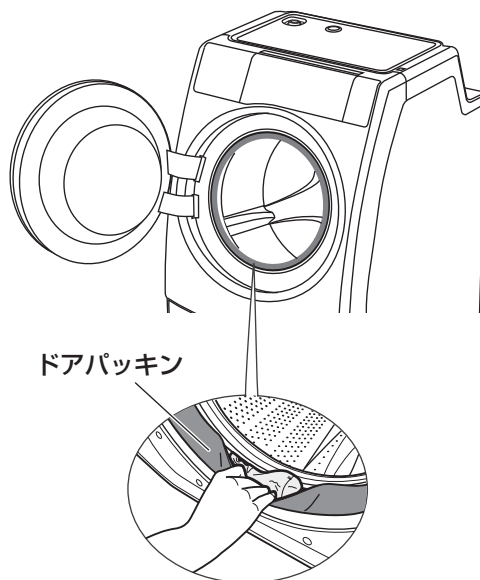
水、またはぬるま湯で湿らせたやわらかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤か石けん水をお使いください。

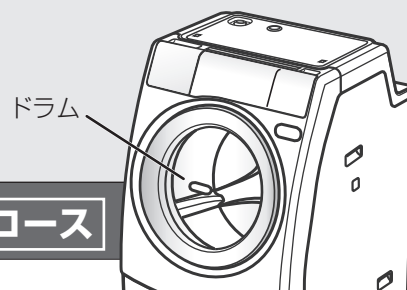
お知らせ

●住宅用合成洗剤(マジックリンなど)・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。プラスチック部品を傷めます。

●化学ぞうきんは、その注意書に従ってください。

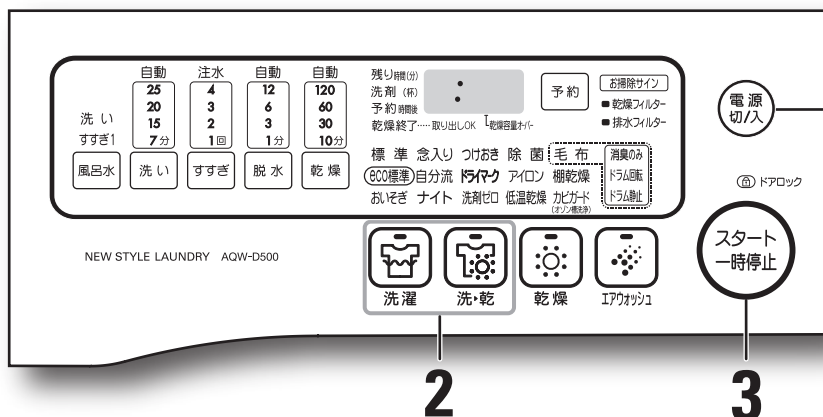
ドアパッキン

水滴・糸くずや汚れをふいてください。
糸くずなどがたまると水もれする原因になります。

● ドアパッキンの下に洗濯物が入り込んでいる場合があります。

お手入れ【ドラム】（つづき）

月1回程度　ドラムのカビを予防する　カビガードコース

■オゾンの力でドラムの黒カビを予防するコースです。

所要時間

洗濯　約45分

洗・乾　約1時間15分

運転前

- 洗濯物や洗剤は入れないでください。
- 「カビガード」コースでは、洗濯槽クリーナーは使用しないでください。
- 排水フィルターのゴミを取ってください。

お知らせ

- オゾン作動中に一時停止や電源「切」→「入」するとドアロックが解除するまで約2～10分かかります。➡ P9
- 黒カビ・石けんカスが発生した場合は、槽洗浄コースをご利用ください。➡ P53
- ムラなく洗浄するため、水をかき上げる音がします。
- チャイルドロックの設定/解除、電源切/入　スタート一時停止　以外は、受け付けません。

1　水栓を開き、電源切/入　電源を入れる

2　洗濯　洗・乾　「洗濯」または「洗濯▶乾燥」を押し、「カビガード（オゾン槽洗浄）」を選ぶ

3　スタート一時停止　スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、排水フィルターを掃除してください。

コースの動き

オゾンと温風で除菌　約30分

ためすすぎ　約2分

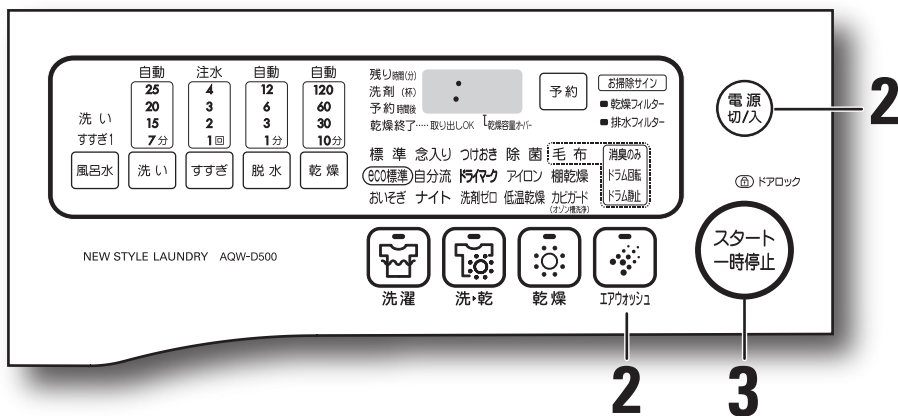
排水して脱水

乾燥　約30分

「洗濯」のみ	約 45 分
「洗濯～乾燥」	約 75 分

必要に応じて 黒カビ・石けんカスが発生した場合 槽洗浄

■洗濯槽クリーナーSWCLEAN-1(別売)を使用する方法です。➡P59

洗濯物は入れないでください。 **洗濯槽クリーナーは、カビガードコースで使わないでください**

所要時間 約13時間

運転前

- 刺激臭がします。換気を十分にしてください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書をよくお読みください。
- 排水フィルターを掃除してください。
- ゴム手袋をして肌を保護してください。

運転後

- 浮き出た石けんカスは拭き取ってください。
- 排水フィルターを掃除してください。
- 24時間以上、洗浄液を入れたまま放置しないでください。(故障の原因)

お知らせ

- 運転途中に約11時間つけおきをします。

1 水栓を開く

2 電源「切」の状態で [エアウォッシュ] を押しながら、[電源 切/入] を押し、そのまま [エアウォッシュ] を約4秒間押し続ける

3 [スタート 一時停止] ドアを開けたまま、スタートする

4 給水が止まったら、洗濯槽クリーナーをドラムに入れ、ドアを閉める

- 使用量は、洗濯槽クリーナーの説明書に従ってください。
- ドアが開いているので「ピピッ」という音と共に「U4」と表示します。(ドアの閉め忘れ防止)ドアを閉めると運転が始まります。

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、排水フィルターを掃除してください。

さびがついたら…

やわらかい布かスポンジにクリームクレンザーをつけ、さびを拭き取ってください。

- 金属たわしなどは傷める原因になるため、使わないでください。
- 赤さびの混じった水やヘアピンなど、さびやすいものを入れたり長時間水を入れたまま放置するとさびの原因になります。

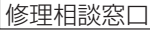
こんな表示がでたら

表　示	調べるところ	処　置
E11 **給水できません**	●水栓を開いていますか。 ●給水口の網にゴミなどが詰まっていませんか。➡P49 ●水道・給水ホースが凍っていませんか。➡P46 ●断水していませんか。	点検後、を2回押す •「お掃除サイン(排水フィルター)」が点滅しているときは、点検後、排水フィルターを掃除し、電源を切る。➡P50
排水フィルター お掃除サイン （お掃除サイン　▢乾燥フィルター　■排水フィルター） E12 **排水できません**	●排水ホースの確認　➡据付説明書 ・倒し忘れたり、つぶれていませんか。 ・途中10cm以上、高くなっていませんか。 ・排水口がふさがれていませんか。 ●排水口（フィルターやトラップ部）に糸くずなどが詰まっていませんか。	
E41 **ドアロックできません**	●ドア開ボタンが押されていませんか。	
E42 **ドアロックが開かない**	●ドア開ボタンが押されていませんか。	点検後、を押す

E41・E42で調べてもなお、ドアロックできない場合は、ドアロック装置の故障の恐れがあります。
お買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。

表　示	調べるところ	処　置
UA3 **運転停止水位**	**排水路の確認・点検** ●排水フィルターに糸くずなどがたまっていませんか。➡P50 ●排水ホース・排水口・排水フィルターを確認してください。（上記「排水できません」参照） ●ぬれた衣類を脱水しないで乾燥していませんか。	一旦電源を切り、脱水を行う ➡点検・清掃後、運転を初めからやり直す （「棚乾燥」コース時は排水のみを行う ・ドラムの水を排水する➡P45）
U3 **脱水できません**	●洗濯ネットをご使用されていますか。➡P14 ●厚手のもの、かさばるもの1枚だけで脱水していませんか。 ジーンズ・バスローブ・トイレマット 木綿の厚手のトレーナーなど ●バスタオルなどの少量(数枚)衣類を脱水していませんか。 ●衣類がからまっていませんか。 ●「毛布」コースで洗濯物が渦巻き状になっていませんか。 ●本体がガタついたり、傾いた床面に設置していませんか。 ➡据付説明書 ●輸送金具を取りはずしましたか。　➡据付説明書	•洗濯ネットをご使用される場合は、バランスを取るために洗濯ネットに入れた衣類の量以上のぬれた衣類を追加する。または、ネットから取り出す。 •衣類が少量の場合、バランスを取るためにぬれた衣類を2～3枚追加する。 •衣類がからまっていたり、毛布が渦巻き状になっていたらほぐしてください。 ドアを閉め、を2回押す
U4 **ドア開**	●ドアが完全に閉まっていますか。	ドアを閉める
UA1 **ドラム内高水位**	**水位が高くドアを開けられない** ●洗いやすすぎ中に一時停止していませんか。 ●ドアを開けると水や泡がこぼれる状態になっています。 ●ドアを開けたいときは、ドラムの水を排水してください。	•続けて運転する場合 を押す •ドラムの水を排水する➡P45

表　示	調べるところ	処　置
UH **排水フィルター抜け**	●正しくセットできていますか。	排水フィルターをセットする ➡P50
UC **乾燥フィルター抜け**	●正しくセットできていますか。	乾燥フィルターをセットする ➡P51
UL **チャイルドロック中**	●チャイルドロックを設定していませんか。	チャイルドロック解除 ➡P45
UP　または 洗い　すすぎ1　が点滅 **風呂水を正しく吸水しない** 風呂水表示を点滅しながら、自動的に水道水に切り換わり運転を継続します。洗いの最初に正しく吸水しないときは、運転終了後に「UP」を表示します。	●風呂水吸水ホースの確認 ➡P22 ・余分に長いホースを巻いたり、たるませていませんか。 ・折れ曲がったり、つぶれたりしていませんか。 ・破れていませんか。 ●ポンプフィルターや浄化フィルターにゴミがたまっていませんか。➡P49 ●浄化フィルターの先端が浴槽の水につかっていますか。 ●浴槽の中に残り湯がありますか。 ●お買い上げ後、初めて風呂水を使うとき、ポンプに給水をしましたか。➡P21 ●発泡性のある入浴剤を使っていませんか。➡P23	
H **ドラム内高温**	●乾燥中や「念入り」「洗剤ゼロ」「除菌」「カビガード」コース運転時に一時停止すると、ドアガラスやドラムの冷却運転をします。温度が下がるまで約15分～60分程度お待ちください。 ●水栓を開いていますか。 ●給湯器を使用していませんか。 ●「H」表示が消えた後でも、ドアガラス、金属部には触れないようにご注意ください。	

標記以外は、制御部品の点検や修理が必要です。
電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて早めにお買い上げの販売店に連絡し、
点検・修理を依頼してください。

修理を依頼する前に初期化をお試しください。
外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けて、正常に動かない場合があります。
初期化をしてください。全て、購入時の設定に戻ります。

初期化の方法

1 電源「切」の状態で 風呂水 を押しながら、

電源 切/入 を押し、そのまま 風呂水 を約6秒間押し続ける

●「ピー」となり、初期化が完了

2 電源 切/入　電源を切る

●再度電源を入れて、動作を確認してください。

尚、異常があるときは、内部をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて早めにお買い上げの販売店、または当社 修理相談窓口 にご連絡ください。 ➡P64

こんな表示がでたら

故障かな？

	症　状	原　因
運転動作	ドアが閉まらない	●ドアロックがかかっていませんか。 ➡ドア開ボタンを押してから、もう一度ドアを閉めてください。
	運転しない	●電源プラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●電源が入っていますか。 ●スタート/一時停止を押しましたか。 ●停電していませんか。 ●ご家庭の電源ヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。 ●予約中ではないですか。
	水量が少ない（水位が低い）	●ドラム式は少ない水で洗濯できるのが特長です。異常ではありません。
	洗濯量に対して洗剤量の表示がおかしい 同じ洗濯量なのに洗剤量が違うことがある	●洗剤量は洗濯量で決まります。 化繊など軽いものが多いときは洗剤量が少なく、洗濯物が最初からぬれているときは洗剤量が多く表示される場合がありますが、故障ではありません。
	運転が止まってしまった	●槽洗浄中ではありませんか。➡P53 ➡11時間つけおきをします。 ●➡P54～55をご確認のうえ、**お買い上げ販売店にご相談ください。**
	停電後、運転を続けてしない	●停電すると運転が停止します。復帰しても運転は始まりません。 ➡はじめからやり直してください。
	スタートしても給水しない	●スタート直後は、給水を止めています。 ➡洗剤投入ケースに入れた洗剤が確実に投入されるようにするためです。
	途中で給水する	●洗濯物を後から追加していませんか。 ●水位が下がると、自動的に水を補給します。 ●ソフト仕上剤を自動的に追加するときに給水します。 ●洗濯物がドラム内でアンバランスになると、給水して片寄りを修正し、再び脱水をします。
	途中で排水する	●洗剤を入れすぎていませんか。 ➡泡が大量に発生すると洗い中でも排水します。 ●「念入り」「洗剤ゼロ」コースを使用していませんか。 ➡洗い途中で排水します。➡P28・37 ●注水すすぎや 風呂水 を設定していませんか。 ➡規定水位になるとすすぎ水の一部を排水します。
	すすぎの回数が増える	●洗剤量が多すぎたり、排水状態が悪いときに脱水の回転が上がらない場合があります。 ➡すすぎが不十分になるため、ためすすぎを追加します。
	脱水「自動」が表示し、変更できない	●洗濯▶乾燥の最終脱水は、効率良く乾燥するため、脱水時間の変更はできません。
	エアウォッシュ運転時に洗剤投入ケースに水が残る	●運転開始時に、少量の水を使うため、液体洗剤・液体漂白剤投入口に水が残る場合があります。

	症　状	原　因
乾燥	●乾燥後に衣類がぬれている ●乾燥が不十分 ●乾燥時間が長い	●排水フィルターは、掃除していますか？ ➡P50 ➞目詰まりしていると衣類がぬれる場合があります。 **●据え付け状況の確認** ・排水処置方法を再確認してください。➡据付説明書 ・本体背面が壁などに接していませんか。 ➞ 1cm以上離す ●衣類を入れすぎていませんか。 ●乾燥フィルターは、掃除していますか。➡P51 ●「乾燥」のみ運転時、衣類をほぐして入れましたか。 ●水栓を開いていますか？ ➞水で冷却除湿しているため、水栓が閉じていると乾燥ができず、また、ドラム内の温度を下げることもできません。 **●所要時間は、水道水圧、排水条件、洗濯物の質・量・組み合わせ・片寄り、室温、水温、電圧により変わります。**
時間	洗濯時間が長い	●所要時間は、給水量毎分15Ｌで計算しています。15Ｌ以下であれば、長くなります。 ●脱水中のアンバランス修正により、時間が長くなることがあります。 ●排水状態が悪くなっていませんか。 ➡P50 ●洗剤の入れすぎで泡が大量に発生すると、すすぎ回数が増えるため、長くなることがあります。 ●「念入り」コースは、オゾン洗浄と衣類を温めるのに時間が必要なため、長くなります。
	残り時間表示が増えたり、減ったりする	●洗濯物がアンバランスになったとき、残り時間は増えます。 ●乾燥中の残り時間は、洗濯量や運転の内容による進みかたの違いから、急に減ったり、一時変わらなくなる（点滅表示）ことがあります。 ●洗濯▶乾燥の脱水中に一時停止すると、（洗濯量が少量でも）残り時間を長く補正しますが、乾燥中に洗濯量に適した時間に変わります。
	乾燥中に残り時間表示が変わらない	●10分～1時間で点滅し、停止 ➞ 衣類の乾き具合をみながら調整しています。 ●3分で点滅し、停止 ➞ クールダウンに時間がかかっています。 （洗濯物の質・量・組み合わせ・室温・水温により変わります）
	脱水時間が長い	●洗濯▶乾燥コースは、脱水時間が長くなることがあります。 ➞長くすることで、乾燥時間を短くしています。(トータル時間も短くなります)
風呂水	風呂水を吸水しない 風呂水ホース内に空気が残っている場合、ポンプが動き始めてから水が出てくるまでに2～3分程度かかる場合があります。 風呂水が正しく吸水されないときは、自動的に水道水に切り換わり運転を続けます。	● [風呂水] を選んでいますか。 ●吸水つぎ手は風呂水吸水口に確実に差し込んでいますか。➡P22 ●余分に長いホースを巻いたり、たるませていませんか。➡P22 ●折れ曲がり・つぶれ・変形・破れ・ひび割れがありませんか。 ●ホースの最も高い位置から水面までの高さが、1.5m以上ありませんか。 ●浄化フィルターにゴミがたまっていませんか。➡P49 ●浄化フィルターが浴槽の水中に入っていますか。 **●お買い上げ後、初めて風呂水を使うときポンプに給水をしましたか。**➡P21 ●発泡性のある入浴剤を使っていませんか。➡P23
音	脱水終了後に「シャー」と音がする	●ドラム前側に入っている液体の音です。(本体の振動を抑えるため)脱水終了後やドラムを手でゆらすと「シャー」「チャプチャプ」と音がします。
	脱水時に異常音がする	●電源コードやアース線が製品に接触していませんか。 ●輸送金具を取りはずしましたか。 ➡据付説明書
	運転終了後に「カチャカチャ」と音がする	●凍結防止設定をしていませんか。 ➡P46 ➞排水バルブの水抜きをする音がします。

故障かな？（つづき）

症状		原因
音	乾燥中に 「ポコポコ」と音がする	●排水ホース内の水と空気が動き音がすることがあります。
臭い／黒ずみ	異臭がする	●オゾン臭がすることがありますが、機外に放出されるオゾン量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使うと臭気が気になることもありますので、部屋の換気をおすすめします。 ●ゴム部品を使っているため、はじめはゴムの臭いがしますが使用するにつれてなくなります。 ●ドラムに付着している石けんカス、黒カビなどで臭いが発生する場合があります。 • 洗濯槽クリーナーでドラム洗浄をしてください。 ➡ P53 • 時々、乾燥をすると臭いの発生を防ぐことができます。 • 普段使わないときは、ドアを開放し風通しをよくしてください。 ●粉石けんは溶けにくく衣類に残りやすい傾向があり、粉石けん自身の臭いがヒーターの加熱で油くさくなる場合があります。 • 予めよく溶かしてからドラムに直接入れ、すすぎを3〜4回してください。 ●排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。 排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。 • 定期的に排水口を掃除してください。 • 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。
	黒ずみ、 異臭がする	●タオル･肌着などは数ヶ月使うと、洗濯していても徐々に皮脂汚れが蓄積し、それを洗濯・乾燥すると黒ずみ、臭いが発生する場合があります。 ●衣類の汚れが多い場合、「標準」コースでは十分に汚れが落ちずに、それが原因で黒ずみ、臭いが発生する場合があります。 ●洗剤が少なすぎると、一度落ちた汚れが再付着し、黒ずみ、臭いの原因になります。 ●液体洗剤を使用すると、黒ずみが目立つことがあります。気になる場合は粉末合成洗剤をご使用ください。 ●ソフト仕上剤を入れすぎると、衣類にソフト仕上剤が多く残り、黒ずみ、臭いの原因になります。 • バケツ（5L）などに約50℃のお湯を入れ（やけどに注意）、洗剤付属のスプーン1/2杯の洗剤を入れてよく溶かし、約1時間つけおきした後、手でもみ洗いをして「標準」コースで洗濯▶乾燥してください。 • 洗い時間を長めに設定してください。 • それでも落ちない場合、衣類用漂白剤をご使用ください。白物には塩素系漂白剤、色柄物には酸素系漂白剤をお使いください。 なお、ご使用方法は、漂白剤の説明書に従ってください。
その他	乾燥フィルターが 湿っている	次の場合に湿ることがありますが、故障ではありません。 ●風呂水や温水の利用、「エアウォッシュ」「念入り」「除菌」コース運転をしたとき。 ●乾燥中に止めたときや洗濯物が完全に乾かずに終了したとき。 ●乾燥フィルターが目詰まりしているとき。 ➞ カビの原因になることがあるため、お手入れをしてください。➡P51
	エアウォッシュ後 衣類が湿っている	●エアウォッシュ中はドラム内の湿度が上昇するため、運転時間や素材によっては湿り気を感じることがあります。その場合、ドラムから出して冷ますと湿り気は軽減されますので、しばらく放置してからご使用ください。
	据え付け時や初めて使用するとき 排水ホース接続口から 水が出る	●工場での性能テスト時の残水で故障や不良ではありません。

別売部品

ご要望の際は、お買い上げの販売店または当社 総合相談窓口 にご相談ください。

●給水栓ジョイント・壁ピタ水栓は、蛇口の形態によっては、取り付けできないものがあります。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●価格は改定されることがあります。

部品名	部品コード・品番	希望小売価格(税込み)
洗濯機トレー 露付きによる床のぬれ防止用に 幅660×奥行660×高さ32mm(外寸)	TRAY-5 617 168 7378	7,350円
高さ調整脚 本体の高さが約20mm高くなります。 2枚(約40mm) まで重ねられます。	HW-KYAKU-1(商品扱い)	1,050円
洗濯機用排水パイプ 左右の排水スペースが80mm とれないときに	HW-PIPE-A(商品扱い)	1,260円
排水ホース補修キット 排水ホースを延長 するときに(長さ1.34m) 排水ホース　ホースつぎ手　ホース口　ホースバンド　接着剤	617 099 1285	1,785円
真下排水パイプ 排水口が本体真下中央部で 設置時に横にスペースが あるときに 真下排水パイプ　接着剤　ホースバンド　クッション	●HW-PIPE-2(商品扱い) ●SW-PIPE-1(サービス扱い) 617 160 2197	1,260円
ホースバンド(排水ホース用)	617 026 4891	210円
給水栓ジョイント 水もれ防止機能付き	CB-J6(サービス扱い) 635 103 3469	2,520円
壁ピタ水栓 水もれ防止機能付き ■その他、分岐水栓を数種類準備しています。	CB-L6(サービス扱い) 617 253 1397	6,825円
給水延長ホース	617 148 0245(1m) 617 148 0252(2m) 617 148 0269(3m)	1,785円 2,310円 2,730円
風呂水吸水ホース　(長さ7m)	617 299 4550	1,890円
フィルターA(風呂水ポンプ用) **(消耗部品)**	617 218 8744	210円
排水フィルター	617 306 4917	840円
乾燥フィルター(消耗部品)	617 310 5382	3,675円
洗濯槽クリーナー	SWCLEAN-1 617 111 3204	2,100円
エアウォッシュアタッチメント エアウォッシュ時のブーツ消臭用。 ブーツキーパーとしても使用できます。 アタッチメント：幅100×奥行 95×高さ376mm(外寸) トレー　：幅302×奥行317×高さ　32mm(外寸) トレー　エアウォッシュアタッチメント	HW-AIR-1(商品扱い)	7,350円

コース内容と所要時間

コース	運転切換	容量(以下)	自動設定の内容 洗い	すすぎ	脱水	乾燥	所要時間の目安
標準 ➡P28	洗濯	9kg	15〜17分	2回(シャワー+ため)	4分	——	約38分〜42分
	洗濯▶乾燥	6kg			自動		約2時間30分〜4時間
eco標準 ➡P28	洗濯	9kg	15〜17分	1回(ため1回)	4分	——	約33分〜37分
	洗濯▶乾燥	6kg			自動		約2時間30分〜4時間
おいそぎ ➡P28	洗濯	9kg	7〜8分	注水2回(シャワー+注水)	4分	——	約29分〜31分
	洗濯▶乾燥	6kg	7分		自動		約2時間20分〜3時間50分
念入り ➡P28	洗濯	9kg	自動	注水3回	5分	——	約1時間37分〜1時間54分
	洗濯▶乾燥	6kg			自動		約4時間〜5時間30分
自分流 ➡P38	洗濯	9kg	設定内容による		設定内容による	——	設定内容による
	洗濯▶乾燥	6kg			自動	設定内容による	
ナイト ➡P28	洗濯	9kg	20〜25分	2回(ため2回)	21分	——	約1時間9分〜1時間18分
	洗濯▶乾燥	6kg			自動	自動	約3時間30分〜5時間
つけおき ➡P28	洗濯	2kg	90分	2回(ため2回)	21分	——	約2時間19分
	洗濯▶乾燥				自動	自動	約4時間
洗剤ゼロ ➡P36	洗濯	6kg	自動	2回(ため2回)	4分	——	約1時間21分〜1時間27分
	洗濯▶乾燥				自動		約3時間30分〜5時間
除菌 ➡P28	洗濯	6kg	15〜17分	2回(シャワー+ため)	自動	——	約1時間42分〜1時間47分
	洗濯▶乾燥				自動		約2時間30分〜4時間
低温乾燥 ➡P28	洗濯▶乾燥	6kg	15〜17分	2回(シャワー+ため)	自動		約3時間30分〜6時間
アイロン ➡P28	洗濯▶乾燥	6kg	15〜17分	2回(シャワー+ため)	自動		約2時間〜3時間30分
ドライマーク ➡P32	洗濯	1.5kg	6分	注水2回	4分	——	約26分
毛布 ➡P34	洗濯	毛布 4.5kg / ふとん 総質量1kg	25分	注水3回	6分	——	約2時間
	洗濯▶乾燥	毛布 4kg			自動		約5時間30分
カビガード ➡P52	所要時間 「洗濯」約45分 「洗濯▶乾燥」 約1時間15分						

■

➡P30

コース	容量(以下)	自動設定(所要時間の目安)	お好み設定できる時間
標準	6kg	約2時間〜4時間	10･30･60･120･自動
念入り	6kg	約2時間30分〜4時間30分	
自分流	6kg	設定内容による	
除菌	6kg	約2時間〜4時間	60･120･自動
毛布	毛布 4kg ふとん 総質量1kg	約3時間30分	変更できない
棚乾燥 ➡P39	0.5kg	約1時間30分	10･30･60･120･自動
低温乾燥	6kg	約3時間〜5時間30分	10･30･60･120･自動
アイロン	6kg	約1時間30分〜2時間30分	変更できない
ナイト	6kg	約2時間〜4時間30分	10･30･60･120･自動

■

お好み設定できる内容 ➡P43			
洗　い	すすぎ	脱　水	乾　燥
7 15 20 25 自動 一分（消灯） 念入りコースのみ洗いの変更ができません	1回 注水1回 2回 注水2回 3回 注水3回 4回 注水4回 一回（消灯）	1･3･6･12･自動･一分（消灯）	——
		変更できない	10･30･60･120･自動
		1･3･6･12･自動･一分（消灯）	——
		変更できない	10･30･60･120･自動
		1･3･6･12･自動･一分（消灯）	——
		変更できない	10･30･60･120･自動
		1･3･6･12･自動･一分（消灯）	——
		変更できない	10･30･60･120･自動
		1･3･6･12･自動･一分（消灯）	——
		変更できない	10･30･60･120･自動
		1･3･6･12･自動･一分（消灯）	——
		変更できない	10･30･60･120･自動
変更できない		1･3･6･12･自動･一分（消灯）	——
		変更できない	10･30･60･120･自動
変更できない		1･3･6･12･自動･一分（消灯）	——
		変更できない	10･30･60･120･自動
7 15 20 25 自動 一分（消灯）	1回 注水1回 2回 注水2回 3回 注水3回 4回 注水4回 一回（消灯）	変更できない	——
			60･120･自動
			10･30･60･120･自動
			変更できない
7･15･自動･一分(消灯)	注水1回 注水2回 注水3回 注水4回 一回（消灯）	1･3･6･自動･一分（消灯）	——
7･15･20･25 自動･一分（消灯）		1･3･6･12･自動･一分（消灯）	——
		変更できない	
変更できない			

所要時間について

- 風呂水 を選んだ場合は、所要時間が長くなります。
- 給水時間(給水量が毎分15L)と排水時間を含んだ目安です。
- **水道水圧、排水条件、洗濯物の質・量・組み合わせ・片寄り、室温、水温、電圧により変わります。**
- 乾燥終了後の「やわらか仕上げ運転」時間は含みません。
- 乾燥中の残り時間表示は､洗濯量や質により急に減ったり､一時止まることがあります。

◆乾燥中に残り時間が点滅し、停止する場合

10分～1時間で点滅し、停止 ▶	洗濯物の乾き具合をみながら時間調整しています。
3分で点滅し、停止 ▶	クールダウンに時間がかかっています。 (洗濯物の質･量･組み合わせ、室温、水温により変わります)

すすぎについて

■ためすすぎ
設定水位まで給水後、
水をためてすすぎます。

■注水すすぎ
設定水位まで給水後、
注水しながらすすぎます。

■シャワーすすぎ
脱水中にシャワー給水しながらすすぎます。

洗濯量の測定について

運転をスタートするとドラムが回転し洗濯物の量を調べ、水量や洗いかたを自動で選びます。

「エアウォッシュ」「つけおき」「ドライマーク」「毛布」「棚乾燥」コース以外で行います。

- 洗濯物がぬれていると洗濯量を重めに判定します。
- 初めからドラムに水が入っている場合、洗濯量の測定をしないときがあります。
- 多量に水が入っている場合、排水するときがあります。

記憶機能について

「標準」「eco 標準」「おいそぎ」「念入り」「自分流」「洗剤ゼロ」「除菌」「ナイト」コースを運転すると自動的に運転したコースを記憶します。
(スタートから 1 分後に記憶します)

を押すと記憶しているコースが表示されます。

を押すだけでワンタッチでスタートができます。

洗濯　洗･乾　「洗濯」「洗濯▶乾燥」の運転切り換えを記憶します。

- 「乾燥」は記憶しません。
- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いた場合も記憶しています。

●購入時は、
「標準」コース 洗･乾 を記憶しています。

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

お買い上げの販売店で発行しますので、「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理を依頼されるとき

➡ P54～55 に従って調べてください。直らないときは内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉め、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ドラム式洗濯乾燥機
品　番	
お買い上げ日	年　　月　　日
お名前	
ご住所・電話番号	
故障の内容	できるだけ具体的に

◆ **保証期間中は**
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◆ **保証期間をすぎている場合は**
修理により使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

◆ 保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。

◆ **修理料金の仕組み**
修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張費	ご依頼により、技術者を派遣する費用です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

転居されるときは

転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。

一般家庭用以外の目的でご使用になるとき

理容院、美容院、ホテルなどでの業務使用、寮や病院など共同使用により1日の使用回数が一般家庭に比べて多い場合は、短期間で部品の交換（モータ、軸受などの機構部品）が必要になることがあります。また、耐久年数も減少します。このようなご使用は、保証期間の対象になりません。お買い上げの販売店にご相談のうえ、業務用機器をお使いになることをおすすめします。

仕　様

●仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

種類	ドラム式洗濯乾燥機
外形寸法	幅636×奥行698×高さ1122(mm)
製品質量	77kg
標準使用水量	洗濯時　　：68L 洗濯乾燥時：90L
標準水量	32L
電源	100V・50Hz–60Hz共用
電動機消費電力	210W (50Hz–60Hz)
電熱装置消費電力	1000W (50Hz–60Hz)
乾燥時消費電力	1100W[30℃](50Hz–60Hz)
洗濯方式	ドラム式
乾燥方式	除湿式
標準洗濯容量	9.0kg(乾燥布状態での質量)
標準脱水容量	9.0kg(乾燥布状態での質量)
標準乾燥容量	6.0kg(乾燥布状態での質量)
使用水道水圧	0.03～0.8MPa(0.3～8kgf/cm^2)
運転音 (社)日本電機工業会基準の測定値	洗い時：29dB 脱水時：37dB 乾燥時：37dB

風呂水ポンプ(本体内蔵)

定格電圧	AC100V
消費電力	45W (50Hz–60Hz)
揚水量	12L/分 (吸い上げ高さ1.5m・ホース4mのとき)

- 待機時消費電力(電源スイッチを切にした状態の電力)は、0(ゼロ)です。
- 品番の(　)内記号は色記号です。
- 標準洗濯・脱水・乾燥容量は、JIS(日本工業規格)で規定された布地で乾燥状態の場合です。

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質[注1]を含有しておりません。[注2]

JIS C 0950 の電気・電子製品の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております

【注1】
「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質

【注2】
対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。
また、除外項目は対象としておりません。

索　引（50音順）

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…
家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　〈 ハイアールアクアセールス株式会社 〉

受付時間：（365日）9：00～18：30

総合相談窓口	0120–880–292

FAXでご相談される場合　0570–013–790
ナビダイヤルでおつなぎします。全国各地より市内電話料金にてご利用いただけます。

家電商品の修理サービスについてのご相談　〈 ハイアールアクアセールス株式会社 〉

受付時間：月曜日～金曜日　9：00～18：30
土曜･日曜･祝日　9：00～17：30

修理相談窓口	0120–778–292

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>
- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・ お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにハイアールアクアセールス株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金,再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
子供が中に閉じ込められる原因になるため、ドアを取りはずしてから廃棄してください。

愛情点検　長年ご使用の洗濯乾燥機の点検を！

こんな症状はありませんか	●電源コード・プラグが異常に熱い。 ●ドラムが止まりにくい。 ●水もれがする。(ホース、マジックつぎ手) ●こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。 ●本体にさわるとビリビリ電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故の防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて必ず販売店に点検をご相談ください。

ハイアールアクアセールス株式会社
〒532-0003　大阪府大阪市淀川区宮原3丁目5-24
新大阪　第一生命ビル4階

品　　番	
お買い上げ日	年　　月　　日
お買い上げ店名	電話（　　　）　　－

52800A